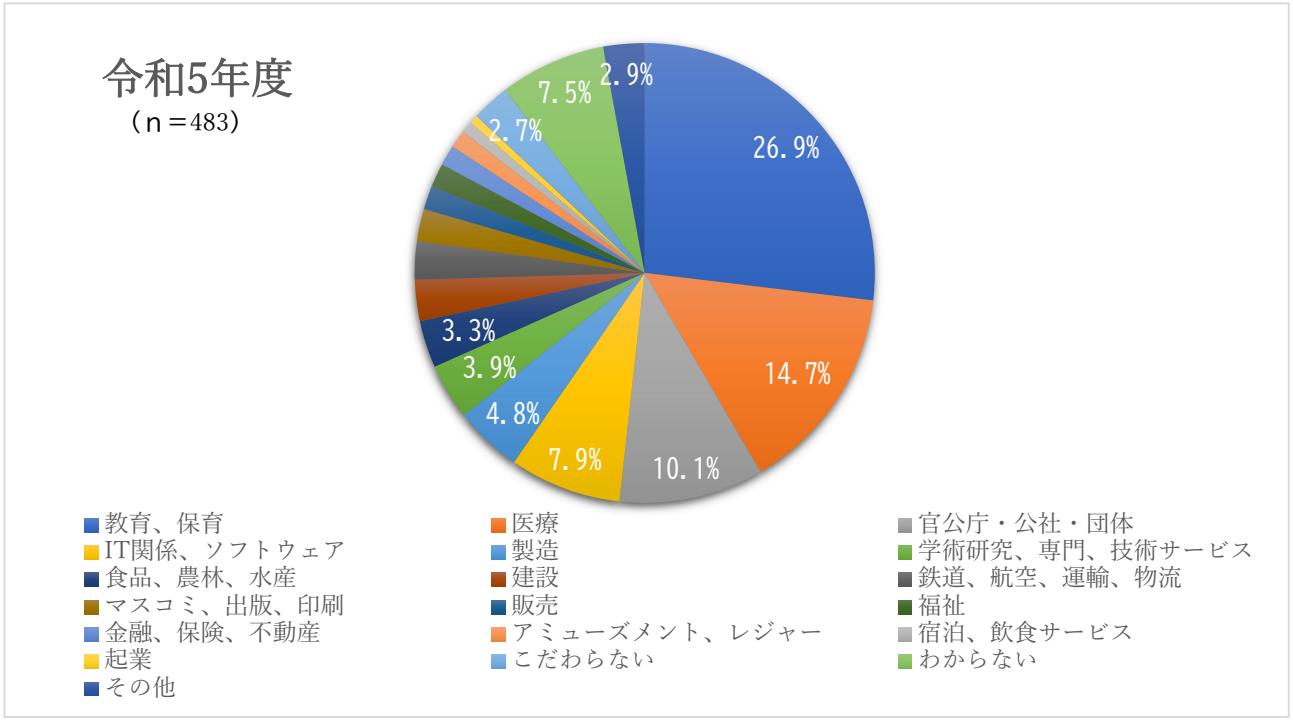
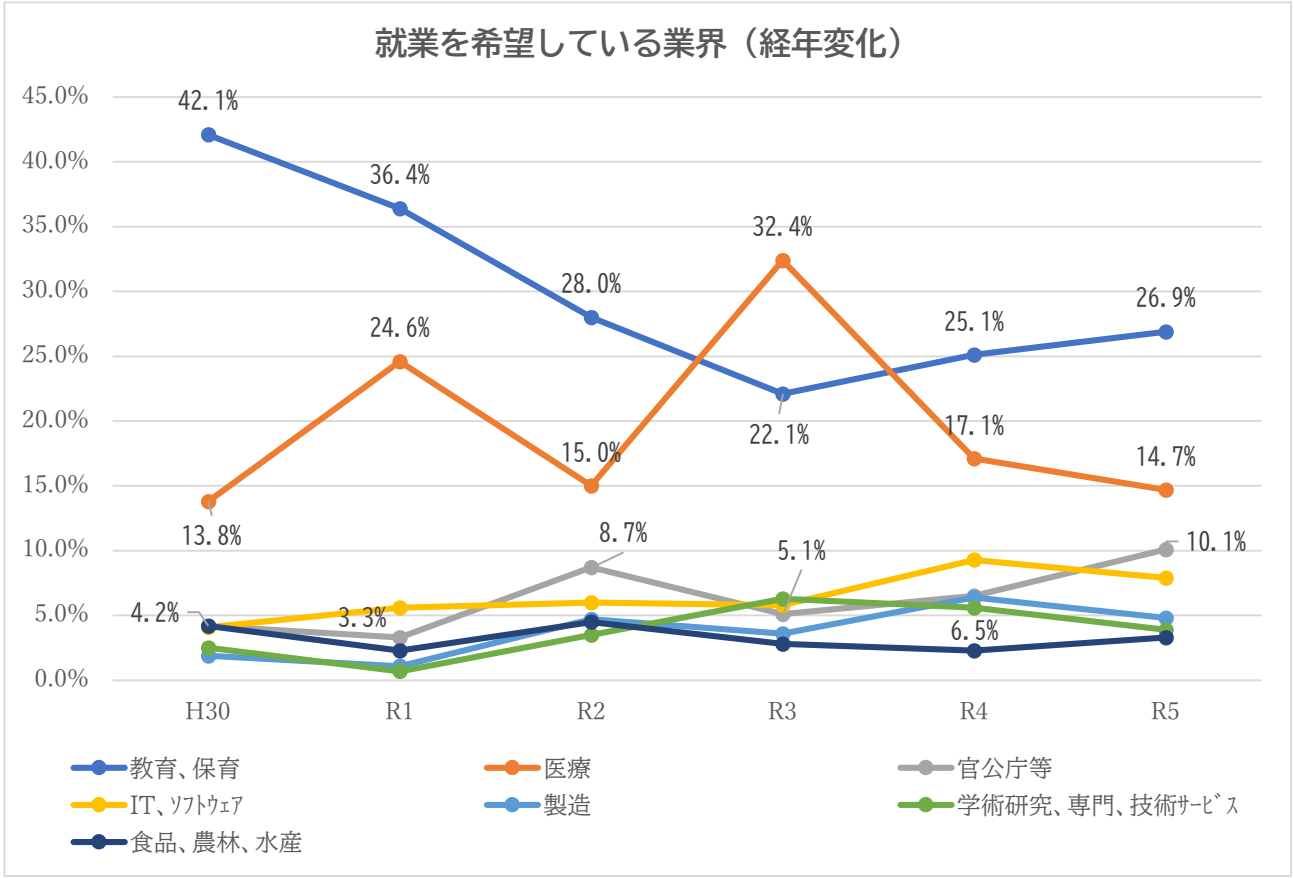
Ⅲ 調査結果（大学生等対象）

１．将来の就業に関する希望について

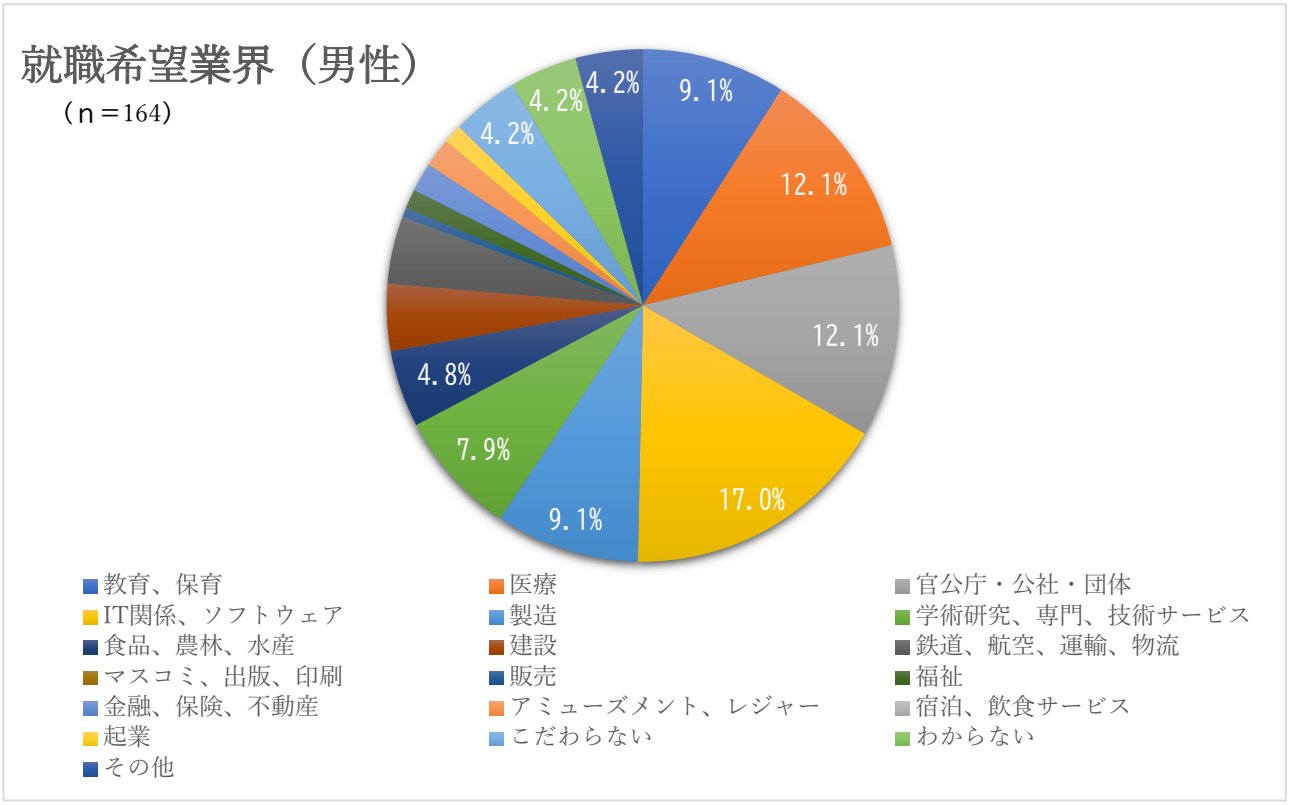
（１）就業を希望している業界

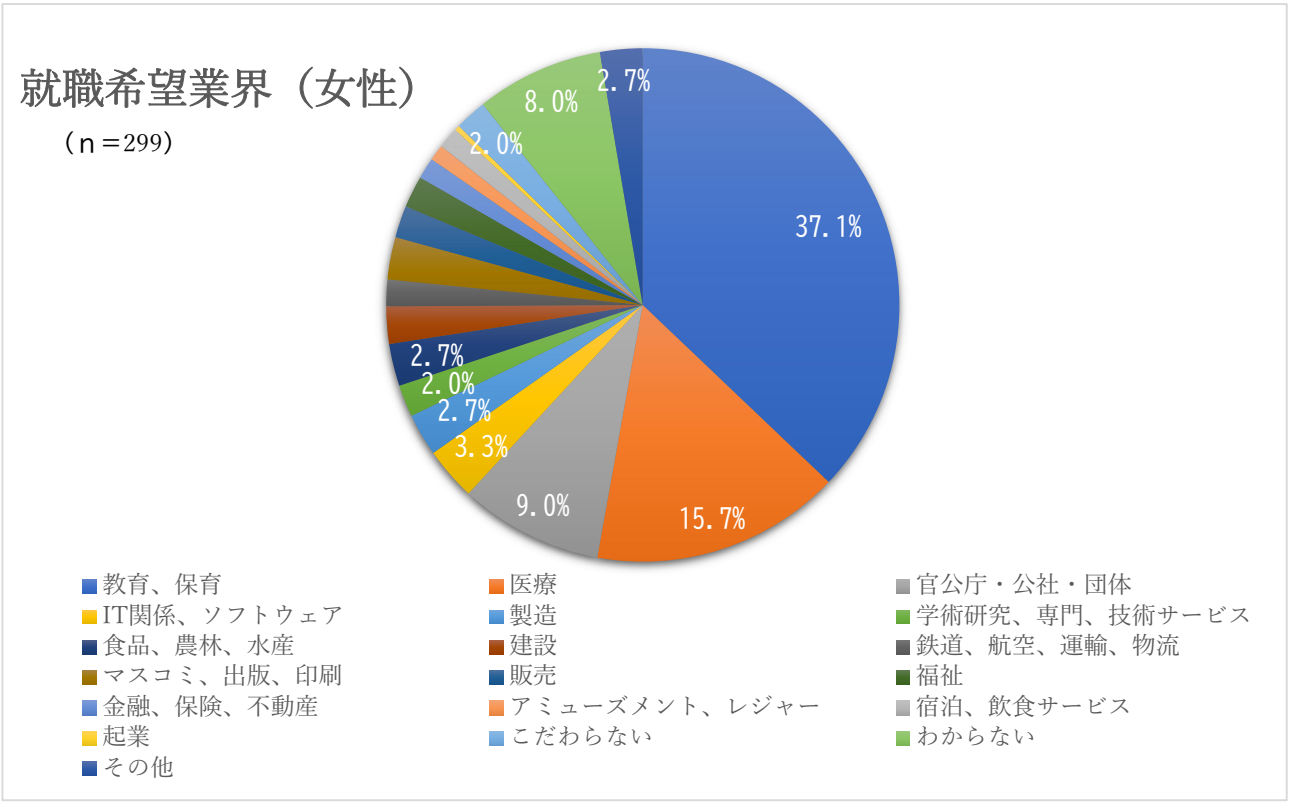
大学生等が就業を希望している業界としては、「教育、保育」が最も多く、26.9%になっており、「医療」が 14.7%、「官公庁・公社・団体」が 10.1%となっている。また、「教育、保育」や「官公庁・公社・団体」が昨年度よりも上昇している一方、「医療」は令和 3 年に大きく上昇して以降、減少している。





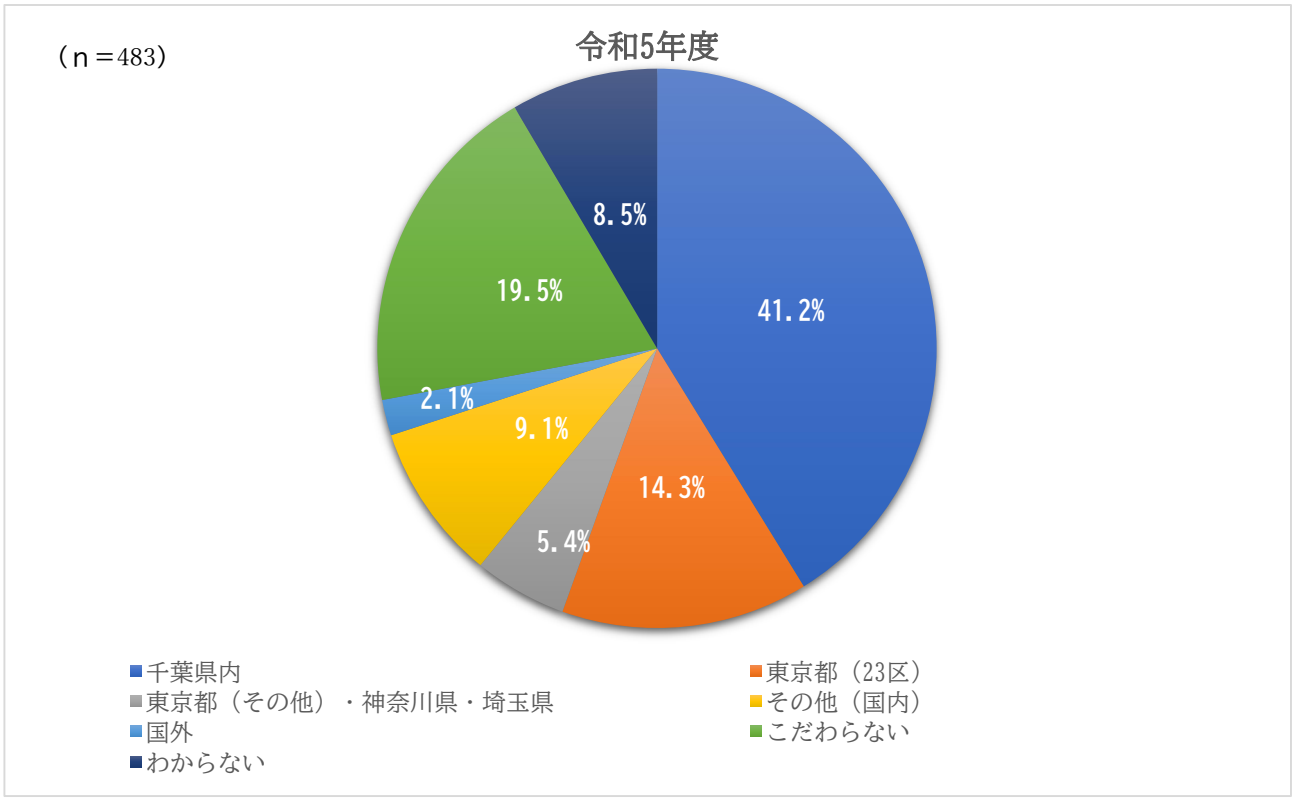
性別で見ると、男性は「IT 関係、ソフトフェア」が 17.0%と最も大きく、次いで、「医療」、「官公庁・公社・団体」となっている。一方、女性は「教育、保育」が 37.1%と最も大きく、「医療」、「官公庁・公社・団体」が続いている。

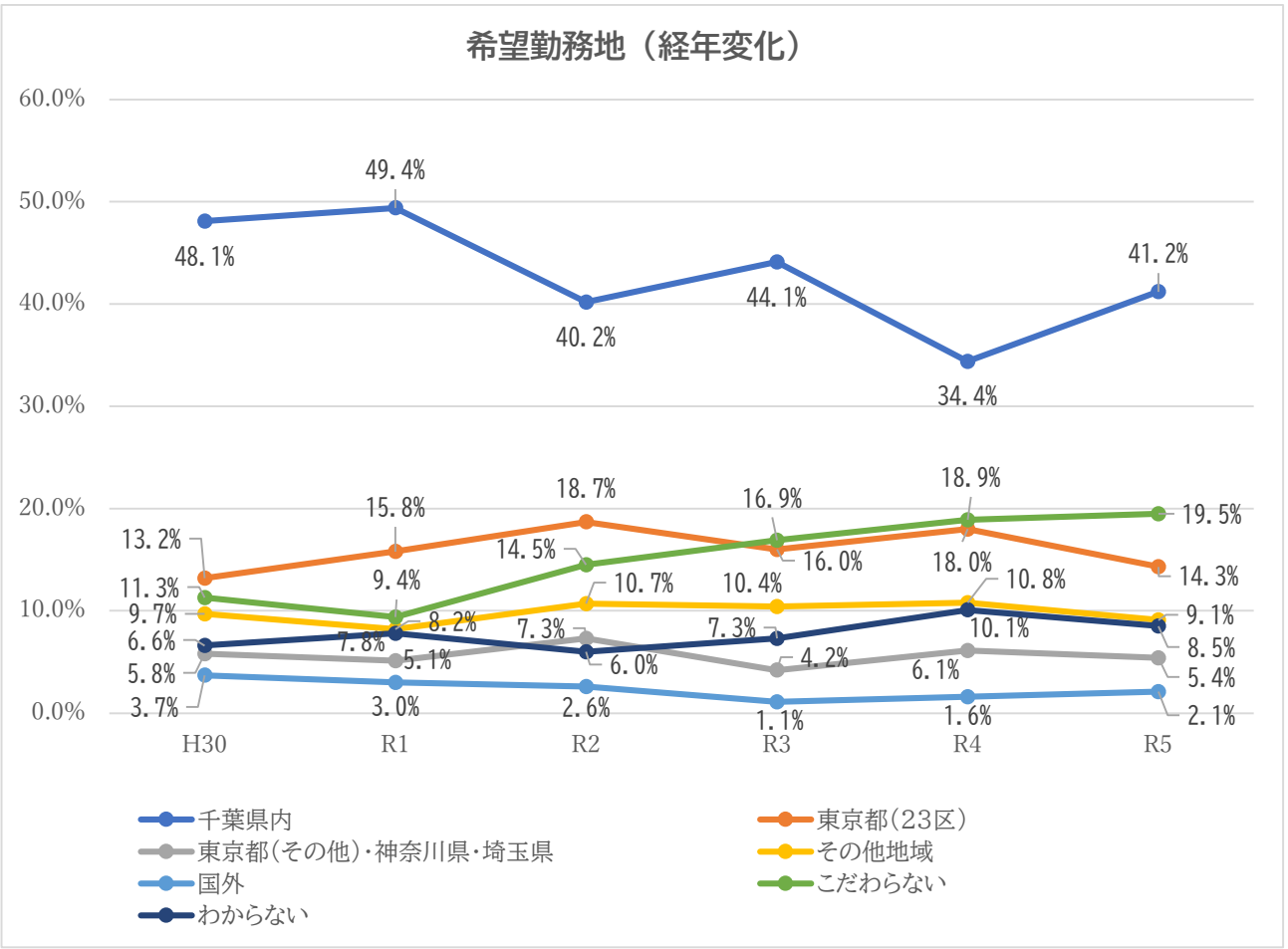




（２）勤務する希望地

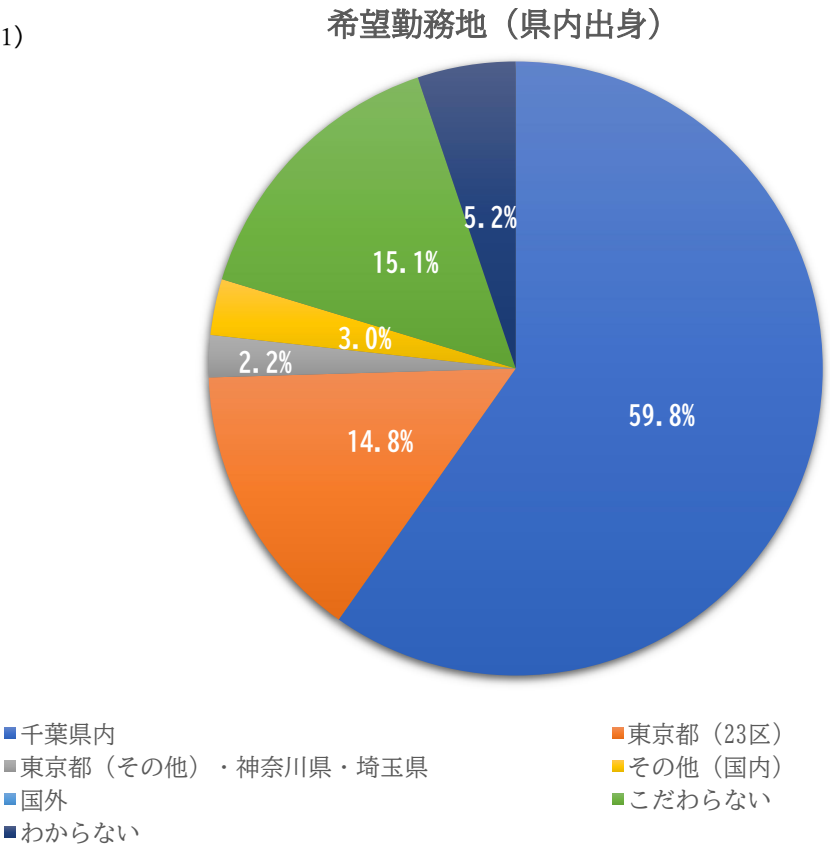
勤務する希望地としては、「千葉県内」が昨年度比 6.8 ポイント増加の 41.2%と最も多くなっている。また、近年「こだわらない」が増加傾向にあり、「東京都（23 区）」を抑えて 2 番目の 19.5%となっている。



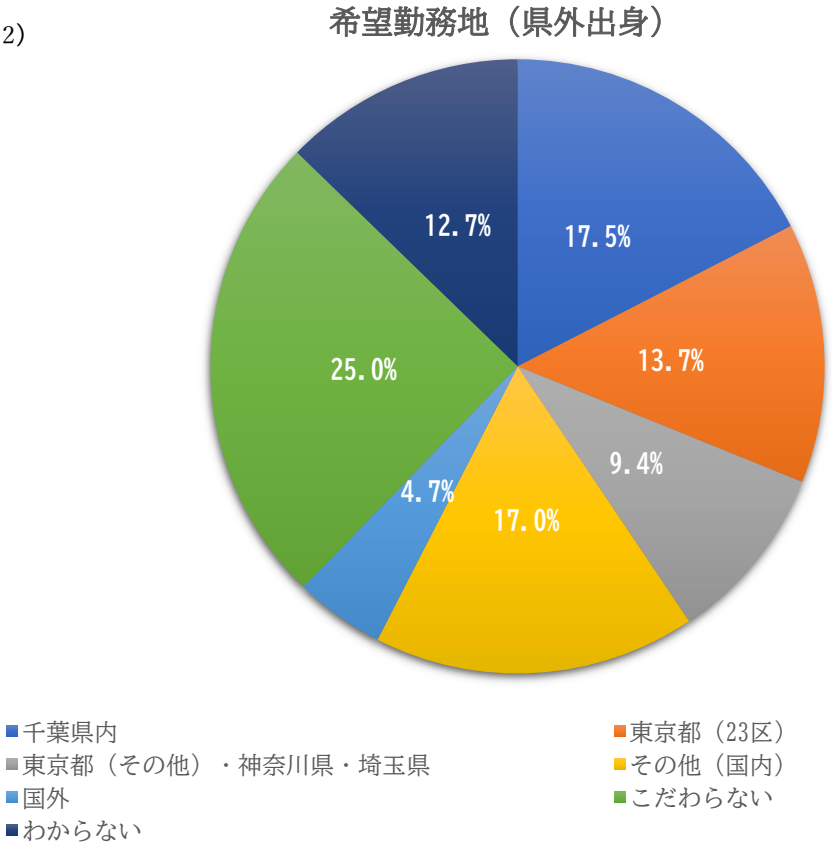


出身地別に見ると、県内出身は「千葉県内」が 60%近くを占める一方で、県外出身は「こだわらない」が 25%と最も多く、その他に「その他（国内）」が 17%となっており、地方出身で地元に帰る方が一定程度いるものと考えられる。

（n＝271）

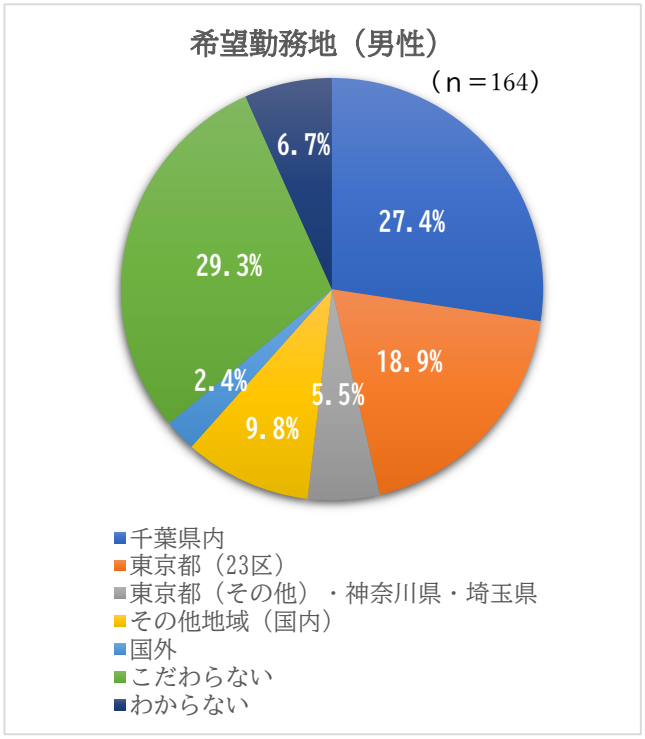


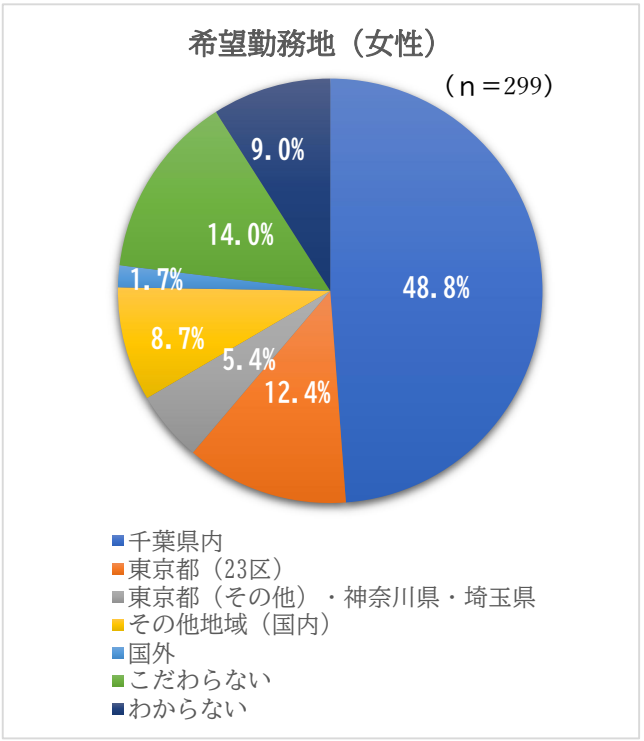
（n＝212）

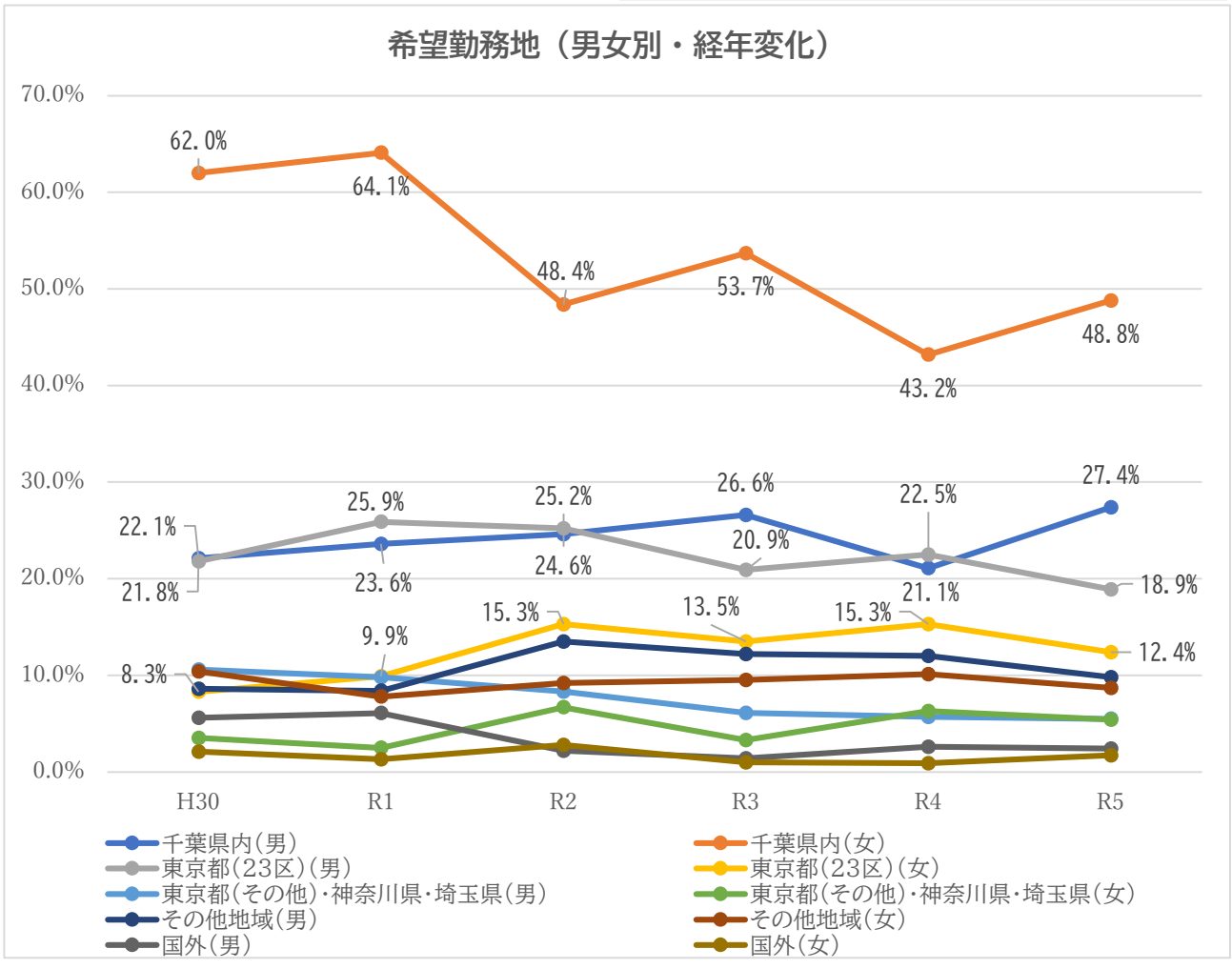


性別でみると、女性は 50%近くを「千葉県内」が占める一方で、男性は「こだわらない」が 29.3%と最も多くなっている。

経年変化を見ると、女性の「千葉県内」の割合は上下を繰り返しながらも、全体としては減少傾向にある一方、男性の「千葉県内」の割合は増加傾向にある。また、「東京（23 区）」の割合は、男性では令和元年以降減少傾向にあるが、女性は令和 2 年に上昇して以降、上下を繰り返しながらも、横ばい傾向となっている。

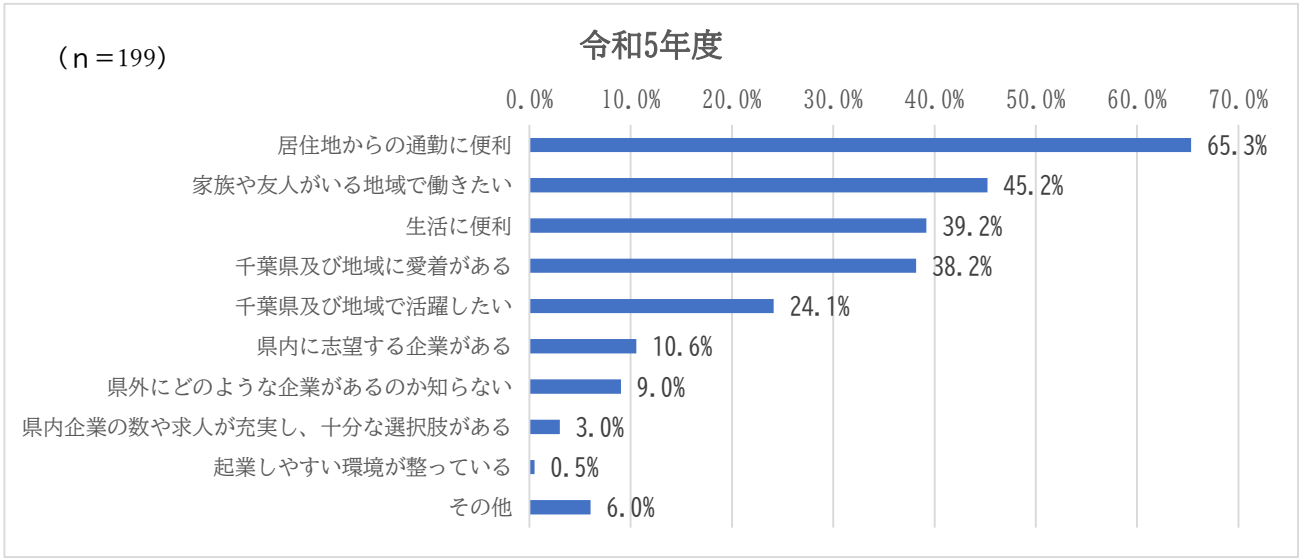


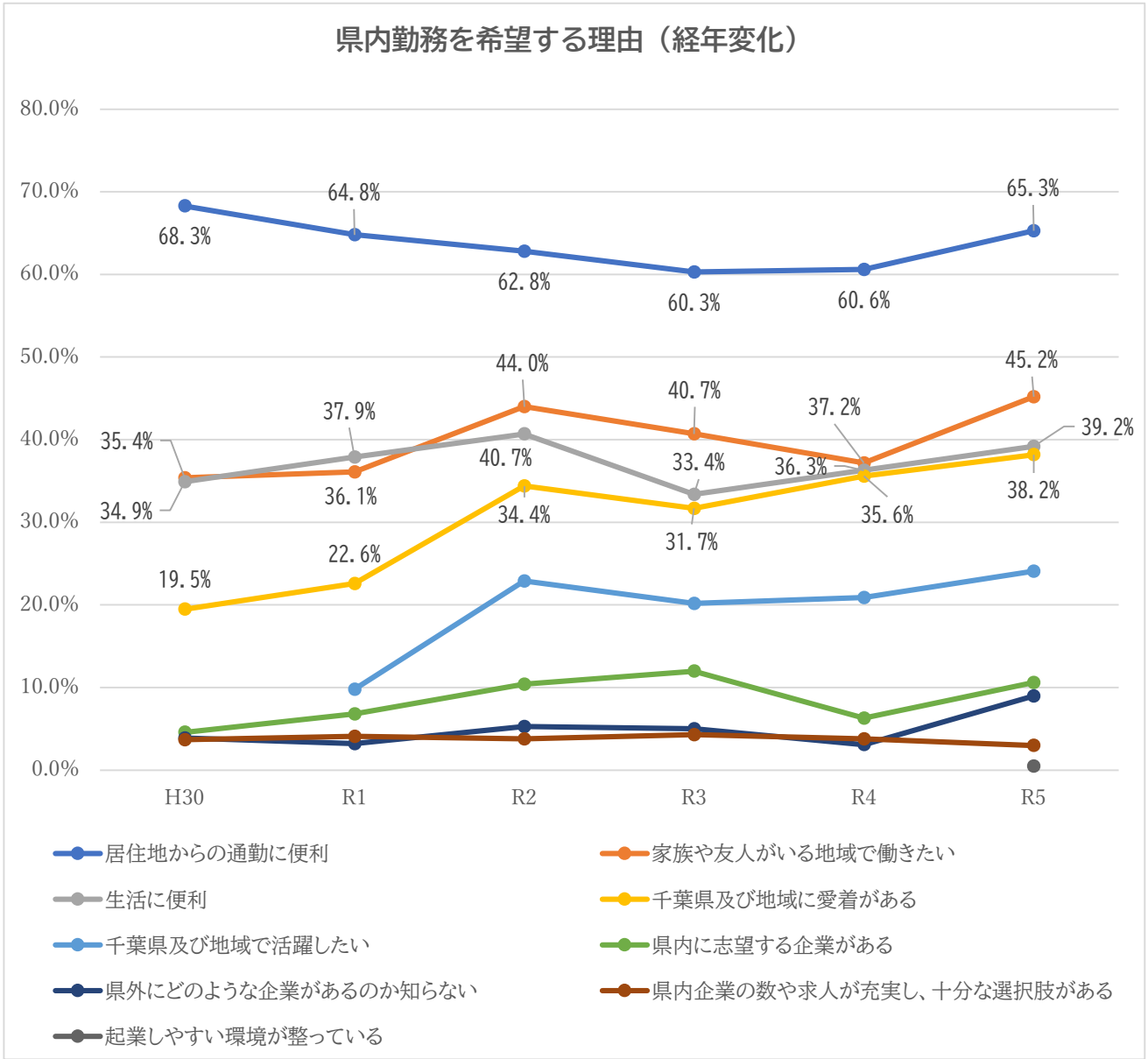




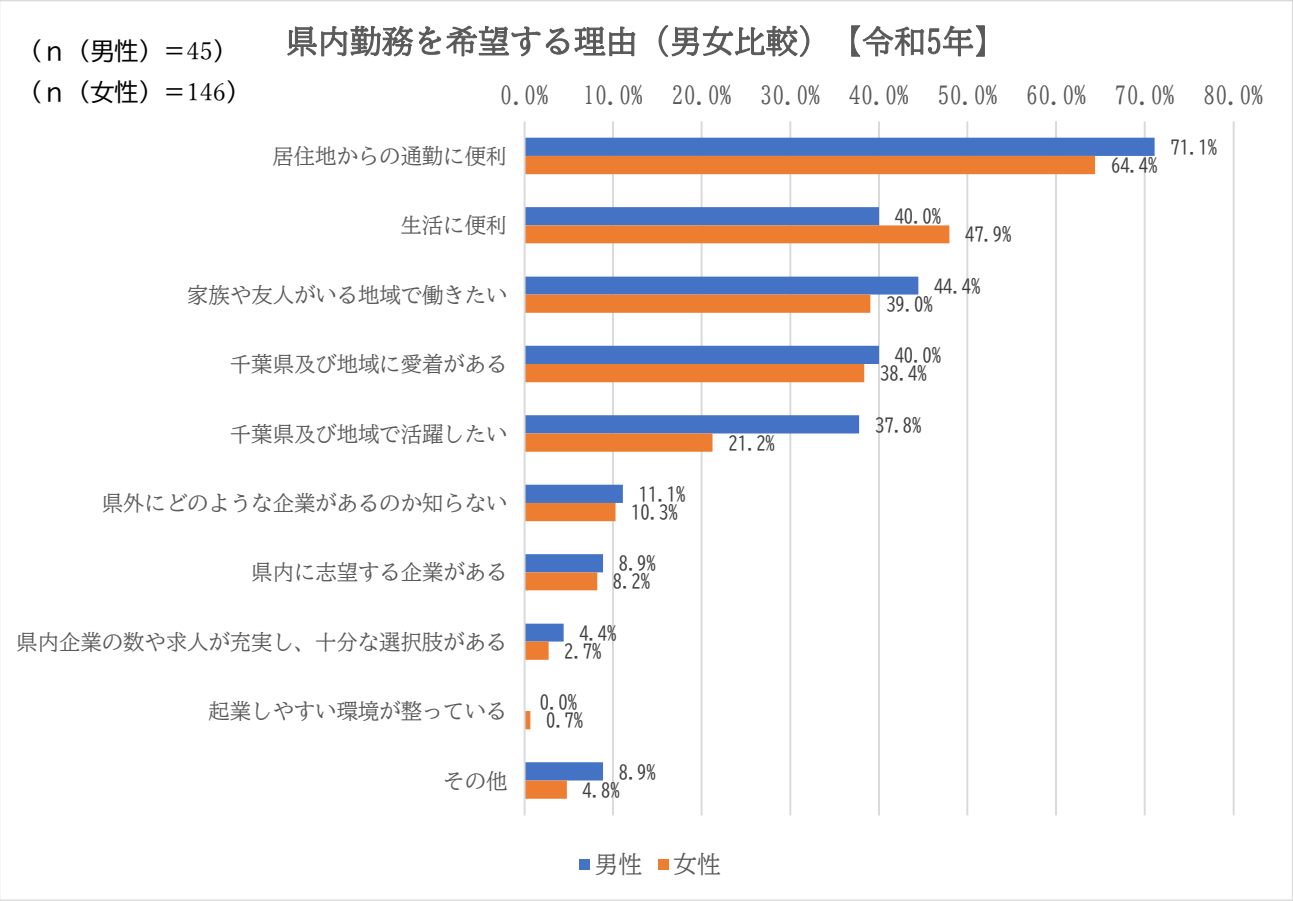
（３）県内での勤務を希望する理由

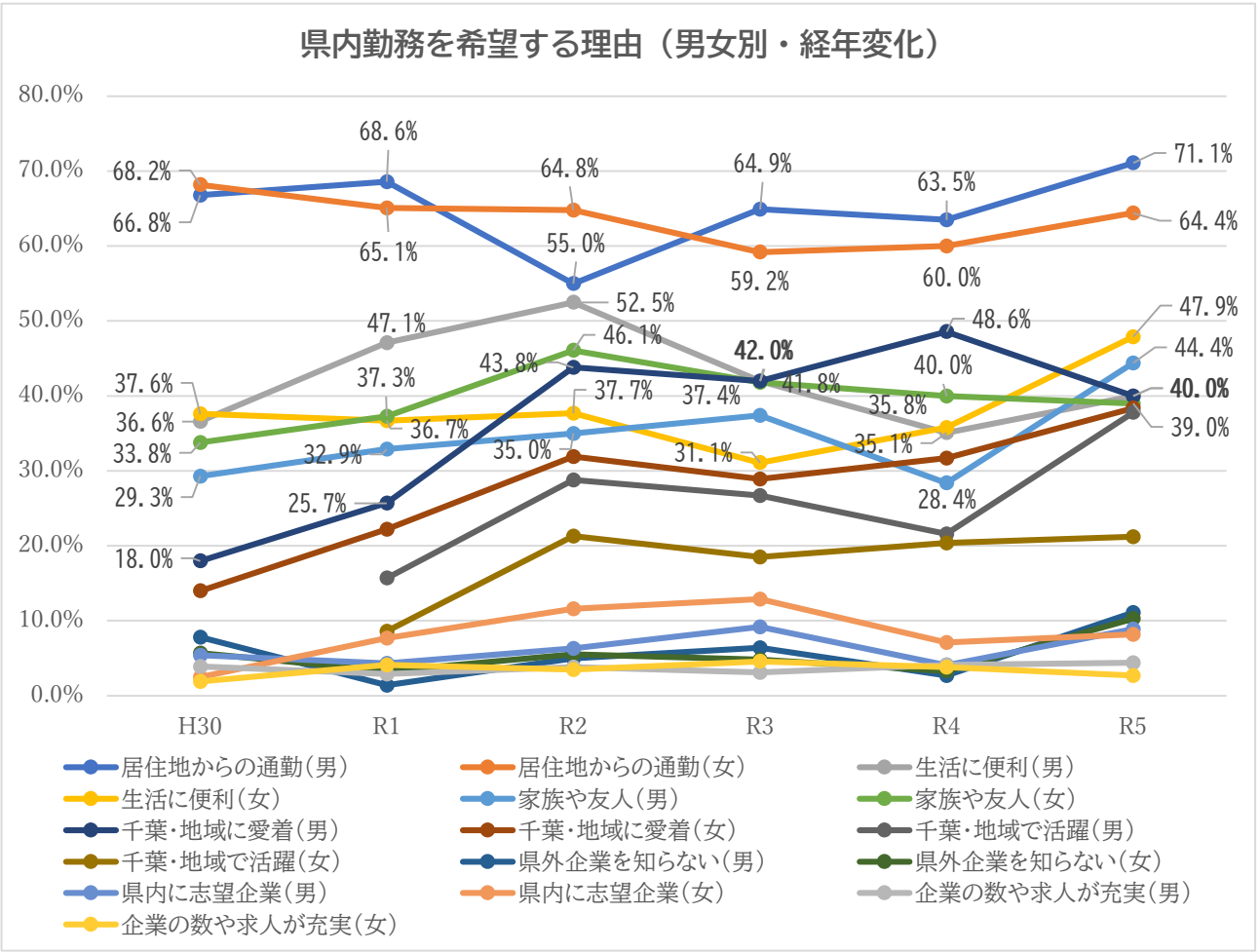
県内勤務を希望する理由としては、「居住地からの通勤に便利」が昨年度比 4.7 ポイント増の 65.3%となっている。また、経年変化を見ると、「千葉県及び地域に愛着がある」や「千葉県及び地域で活躍したい」が令和 2 年に大きく増加し、その後も増加傾向にある。





性別で見ると、男性では、「千葉県及び地域で活躍したい」が多くなっている一方、女性では「生活に便利」が多くなっている。

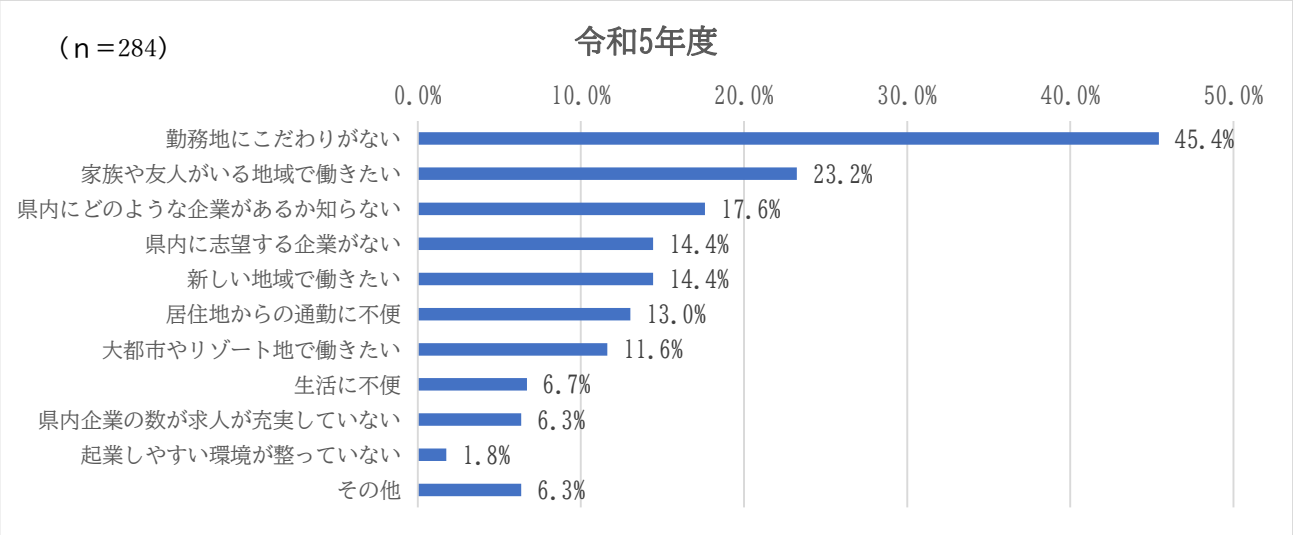


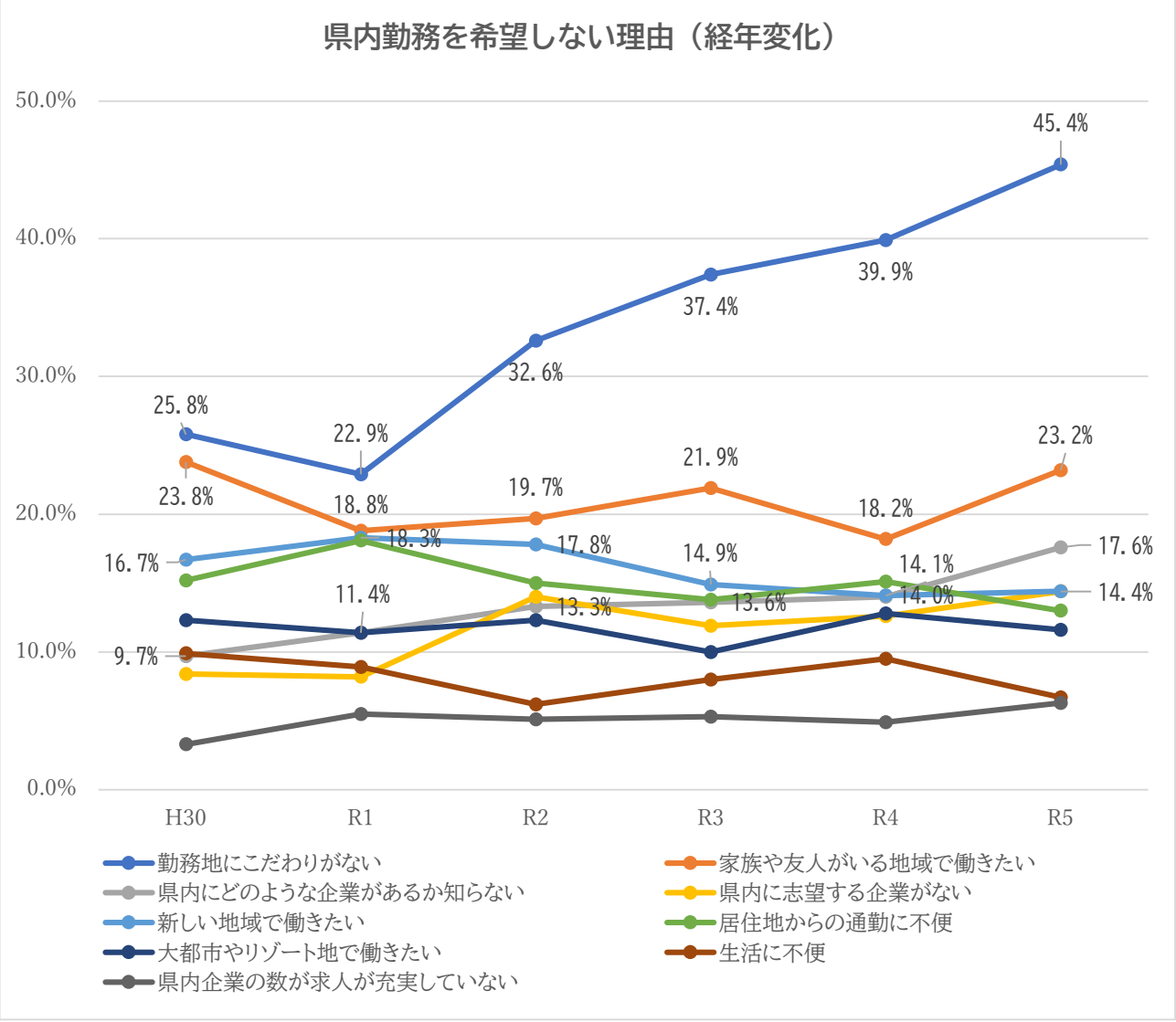


（４）県内での勤務を希望しない理由

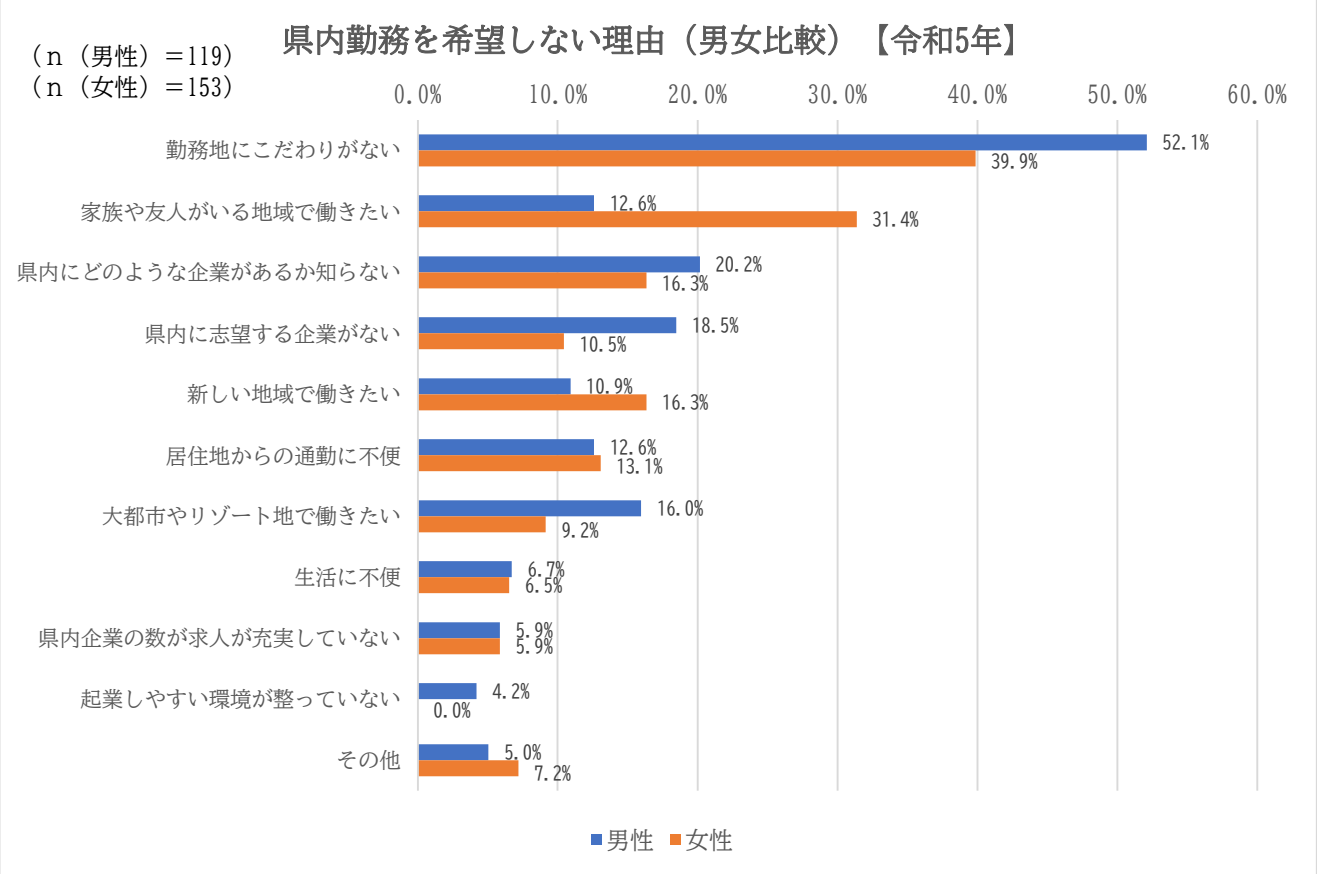
県内での勤務を希望しない理由としては、「勤務地にこだわりがない」が令和 2 年以降、年々増加しており、昨年度比 5.5 ポイント増の 45.4%となっている。

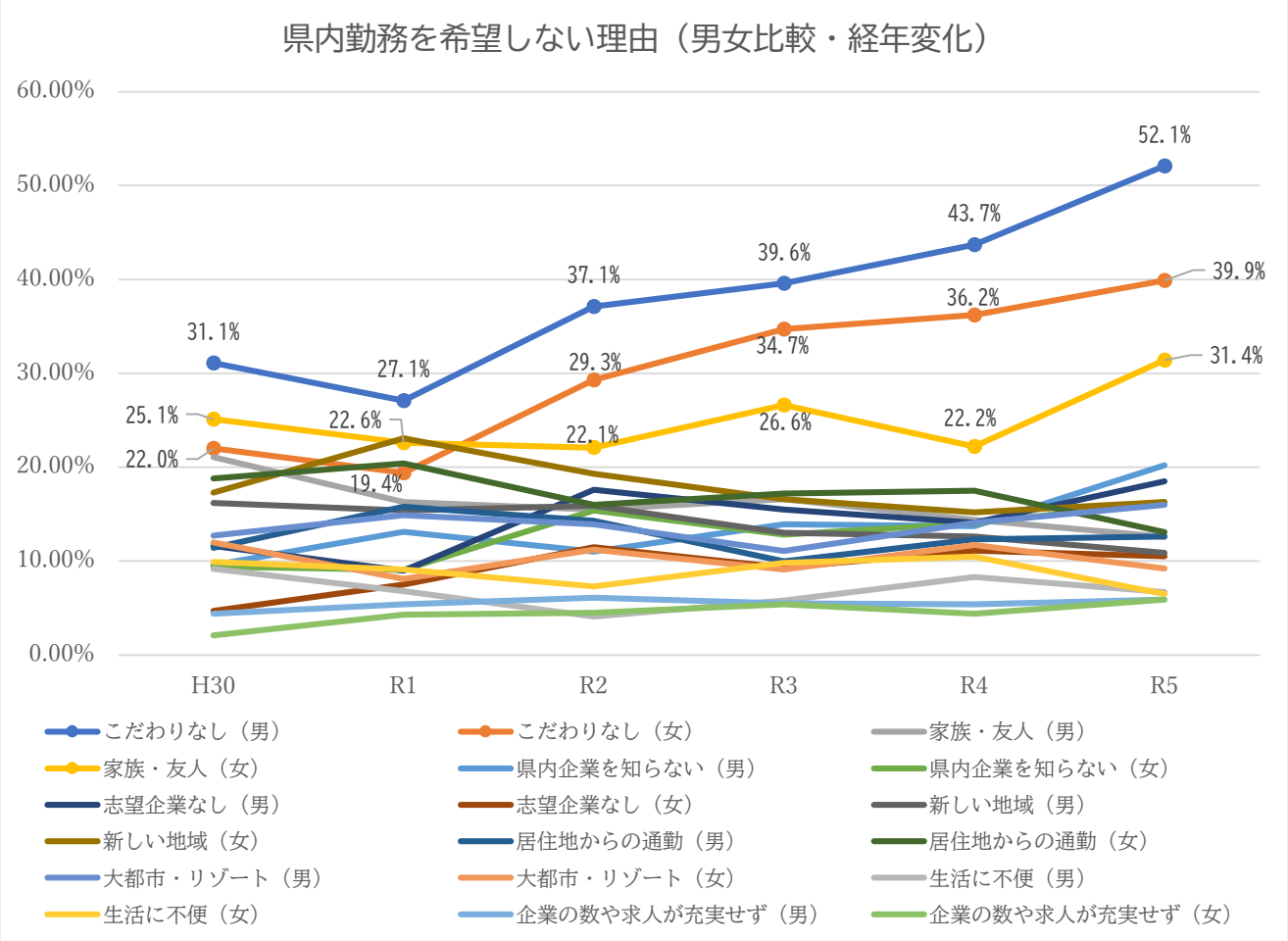
経年変化を見ると、「家族や友人がいる地域で働きたい」が令和元年に減少したが、今回、平成 30 年とほぼ同等まで回復している。また、「県内にどのような企業があるか知らない」が年々増加し、今年 3 番目となっている。





性別で見ると、男性は「勤務地にこだわりがない」が、女性は「家族や友人がいる地域で働きたい」がより多くなっている。

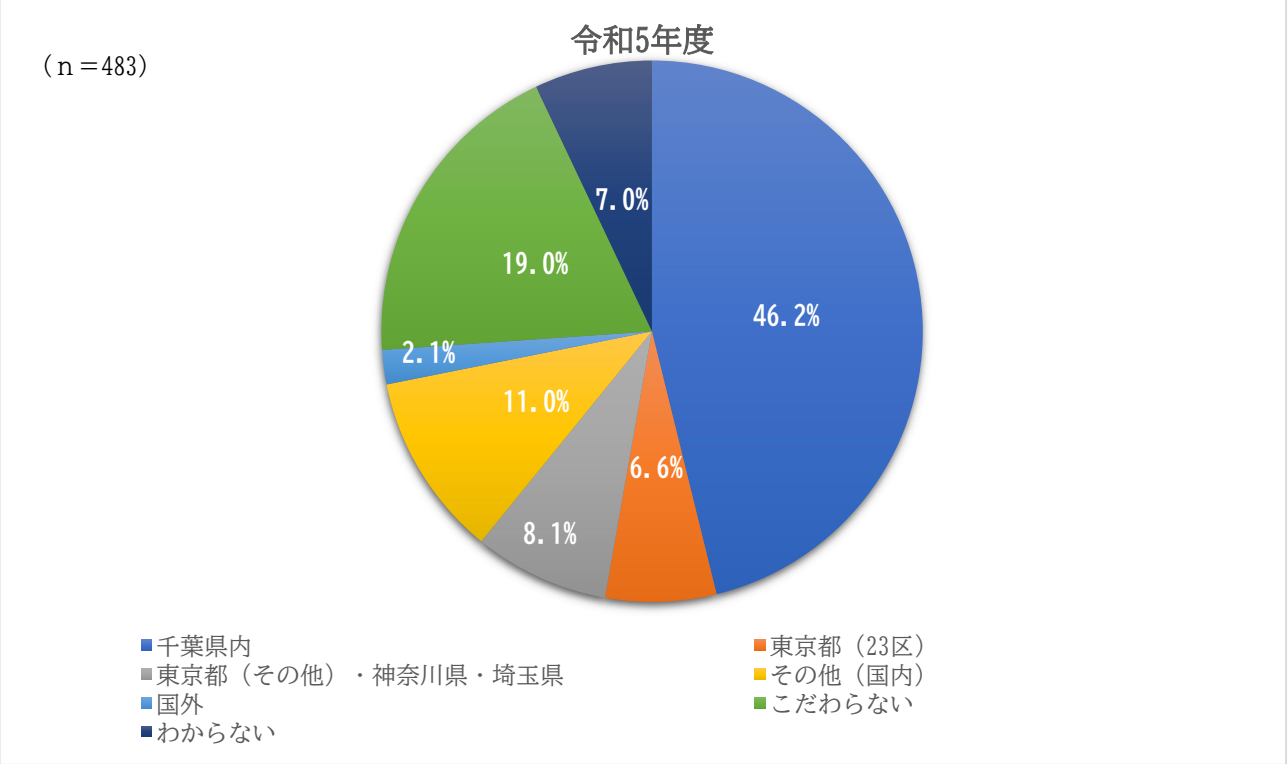


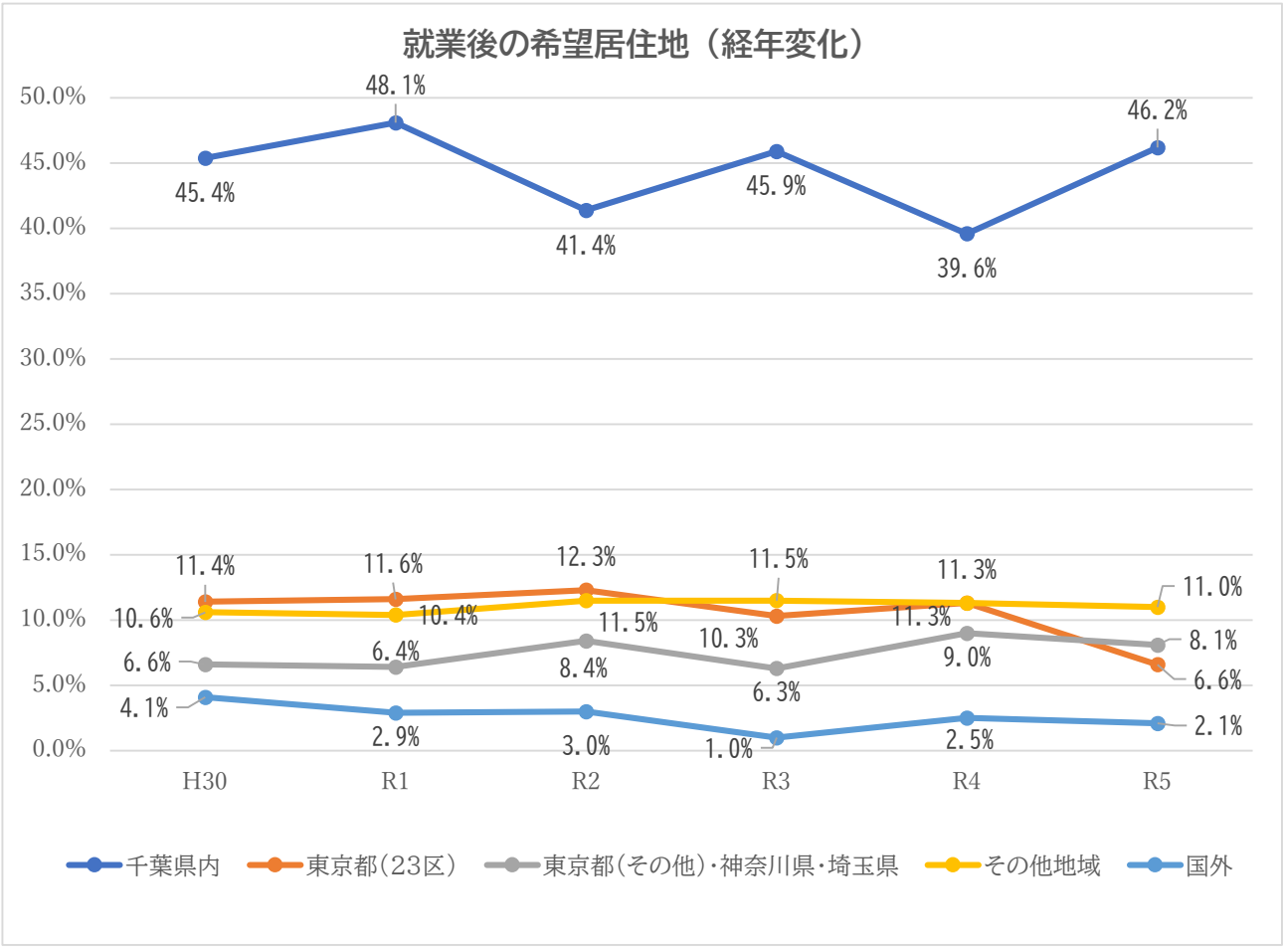


２．将来の居住地の希望について

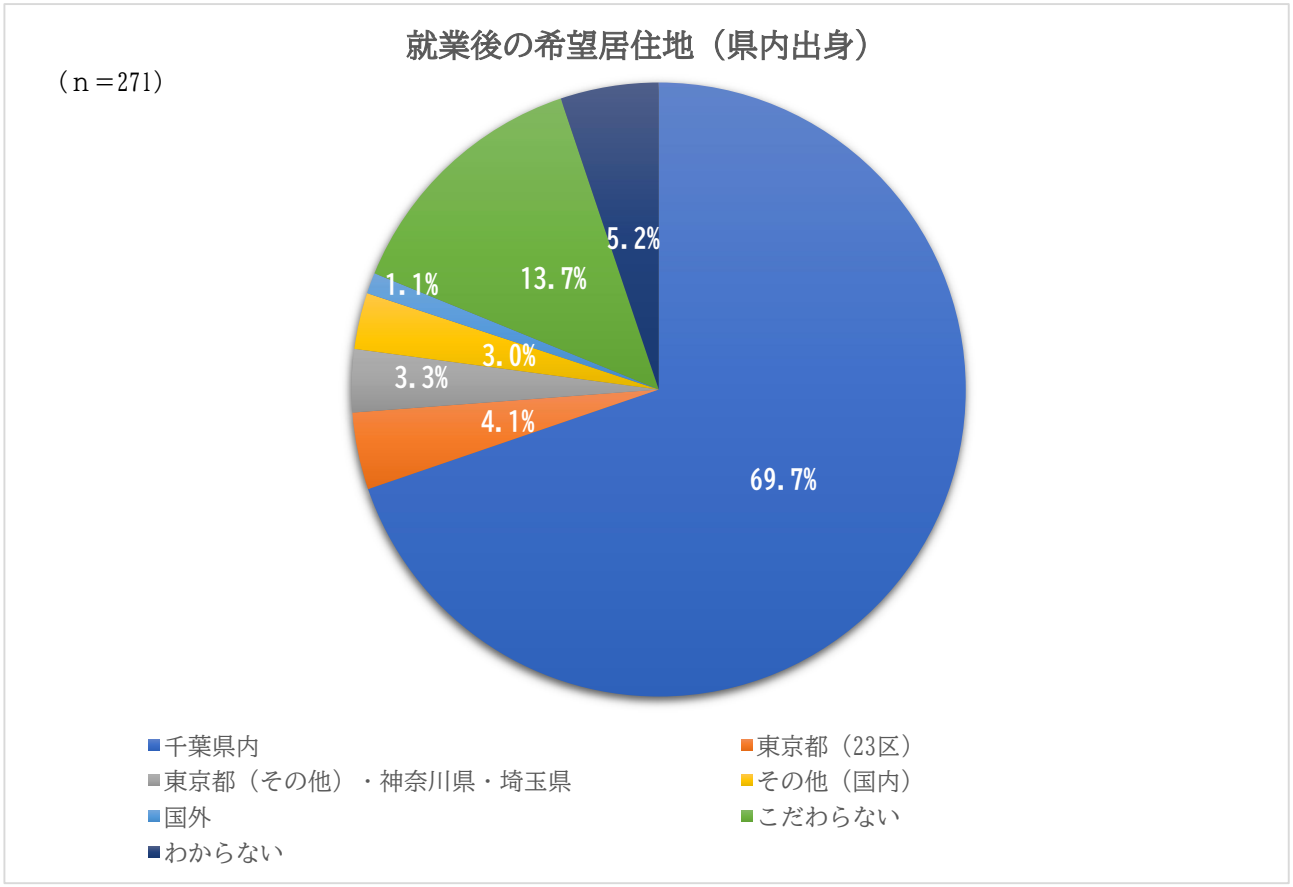
（１）就業後の居住地の希望

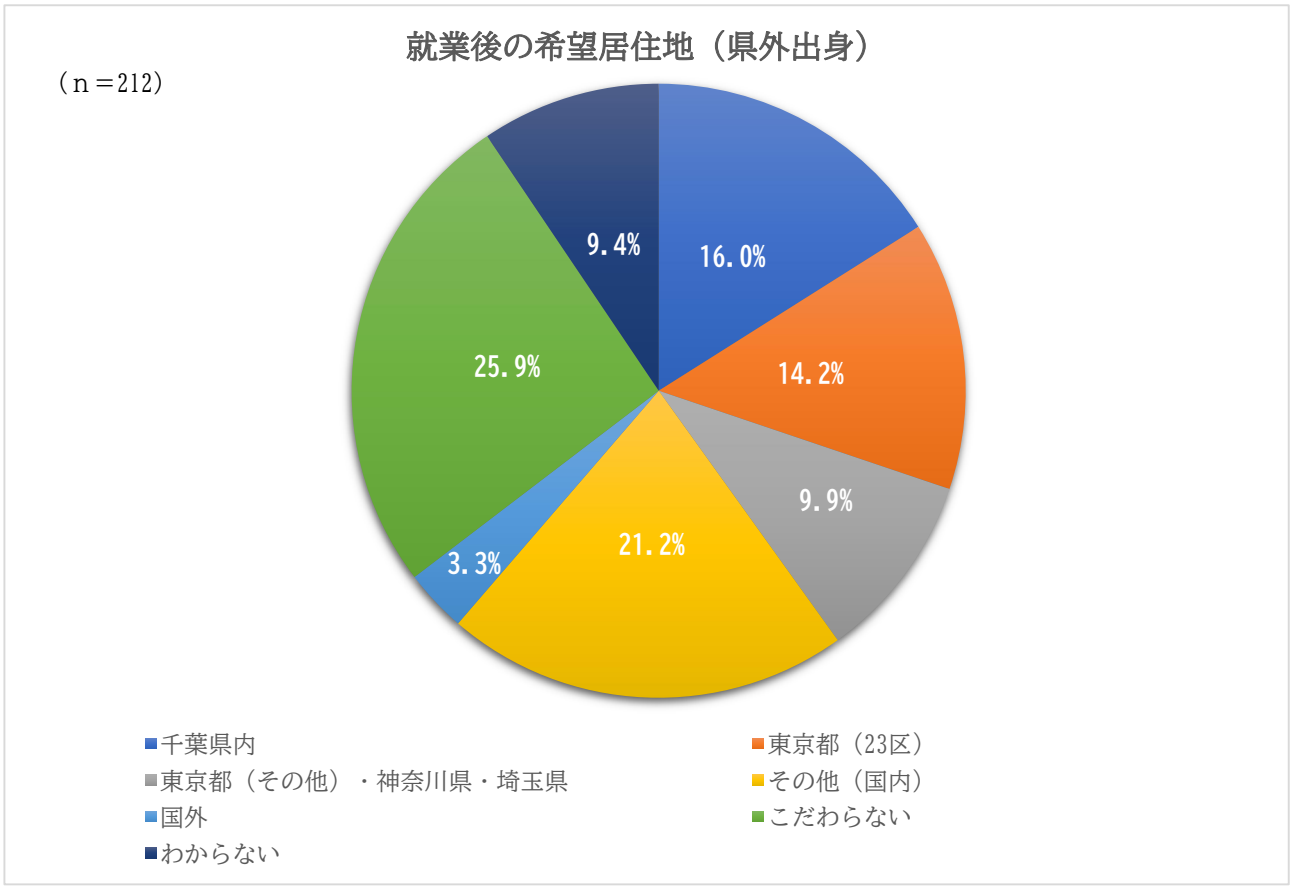
就業後の居住地の希望については、「千葉県内」が昨年度より 6.6 ポイント増加し、46.2%となっている。経年変化を見ると、「千葉県内」は増減を繰り返している一方、「東京都（23区）は今年度 4.7 ポイント減少の 6.6%と大きく減少している。



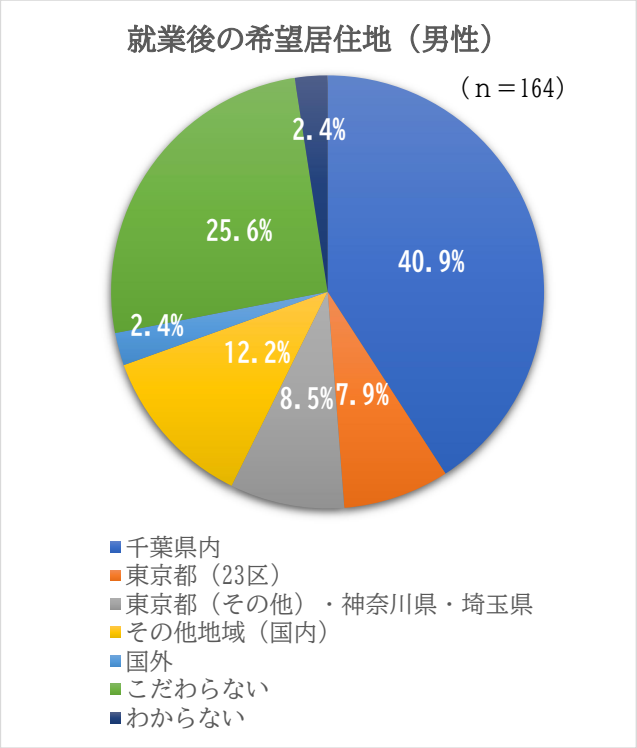


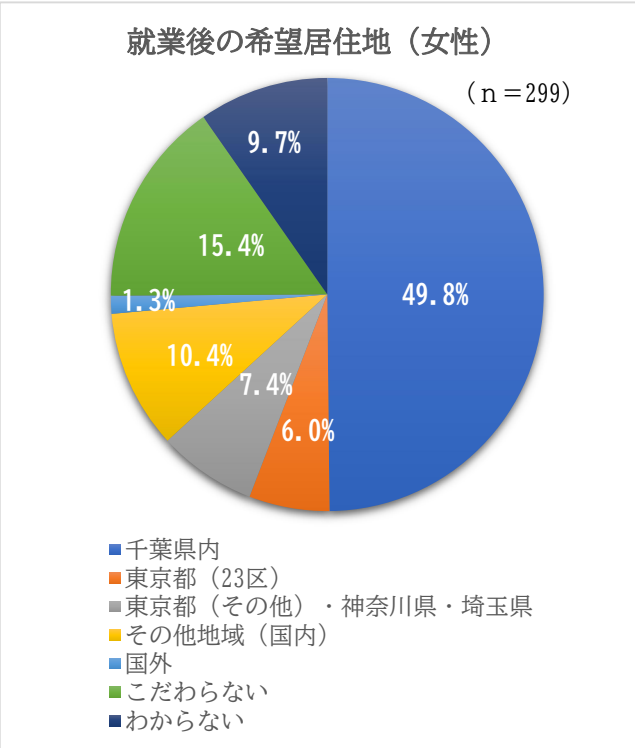
出身地別に見ると、県内出身者の「千葉県内」は 70%近くとなっている一方、県外出身者は「こだわらない」の割合が 25.9%と最も大きく、次いで「その他（国内）」が 21.2%となっている。

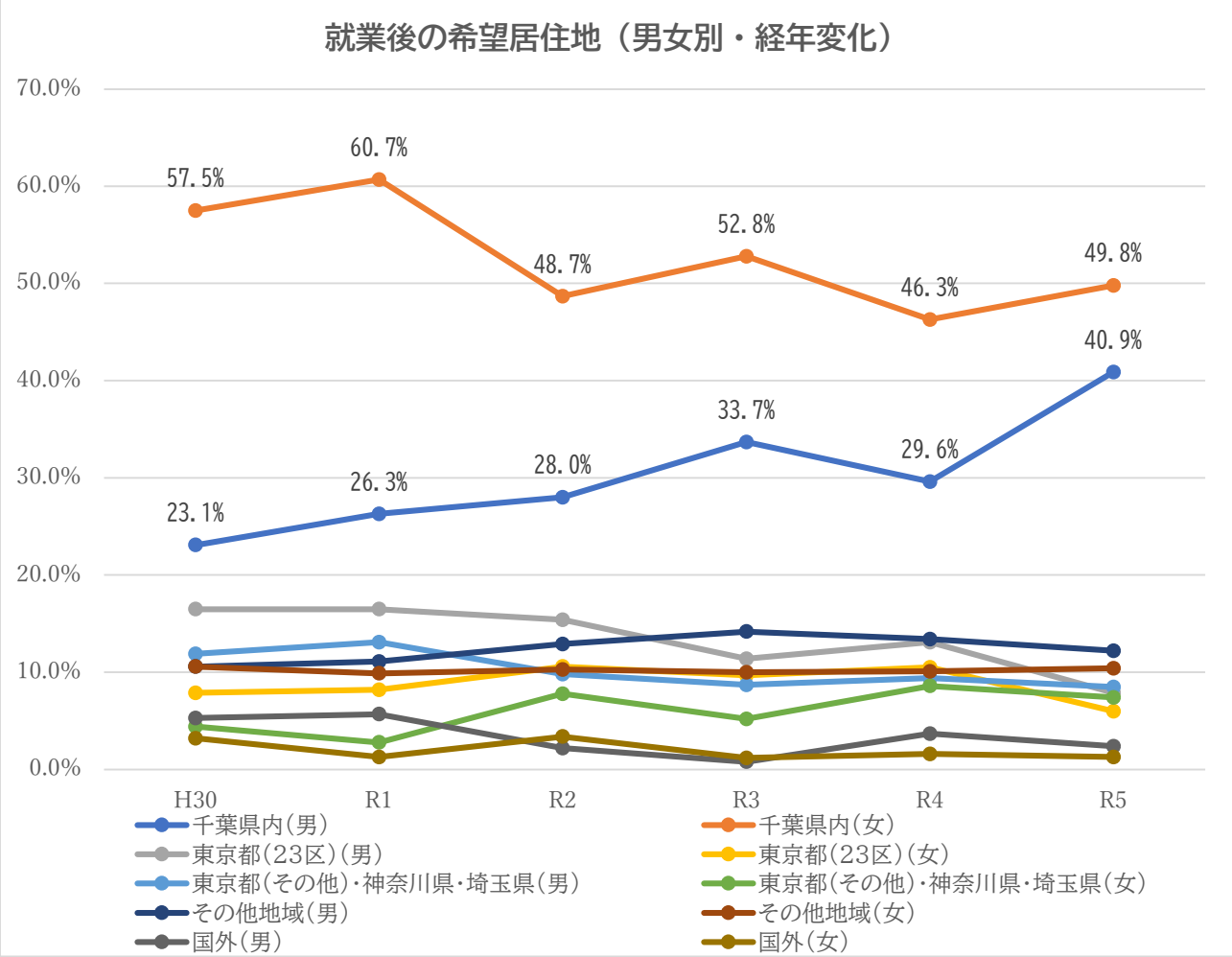




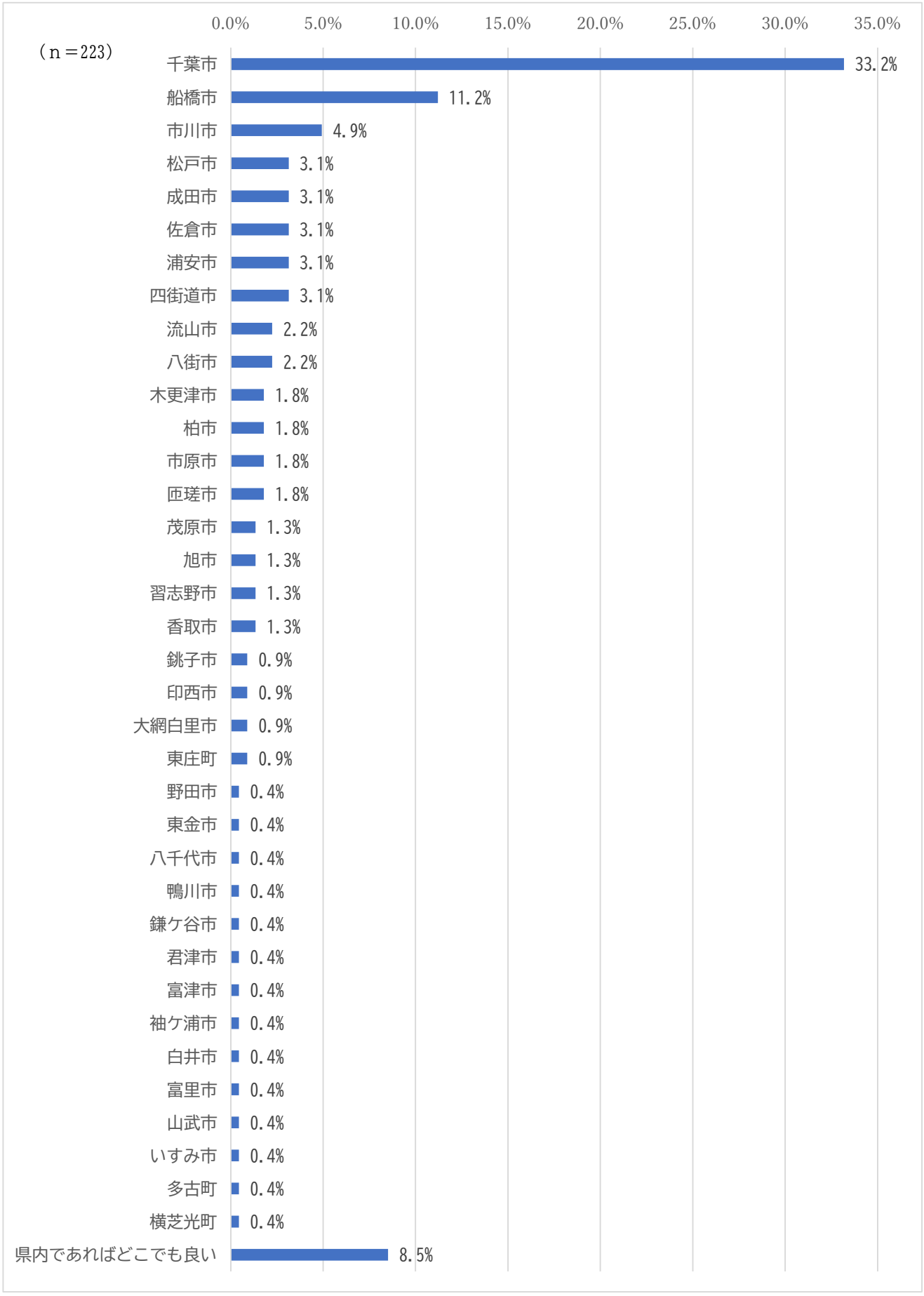
性別で見ると、女性では「千葉県内」が 50%近くを、男性では 40%強を占めている。ただ、経年変化を見ると、「千葉県内」の割合が女性は減少傾向、男性は増加傾向にあり、徐々にその差が縮小している。





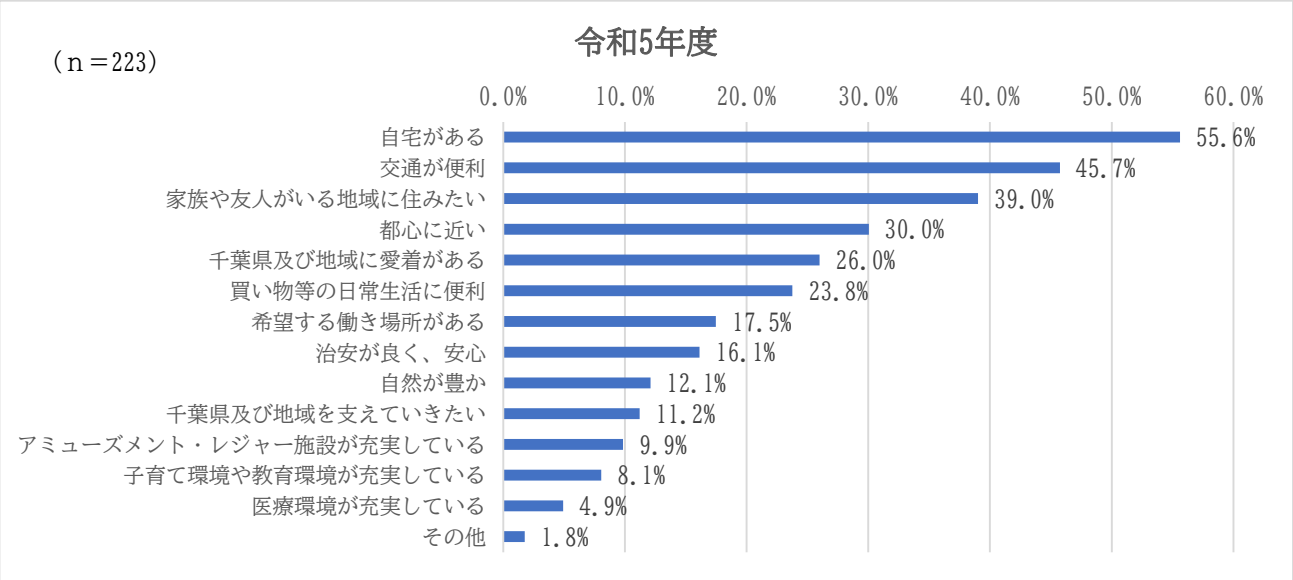


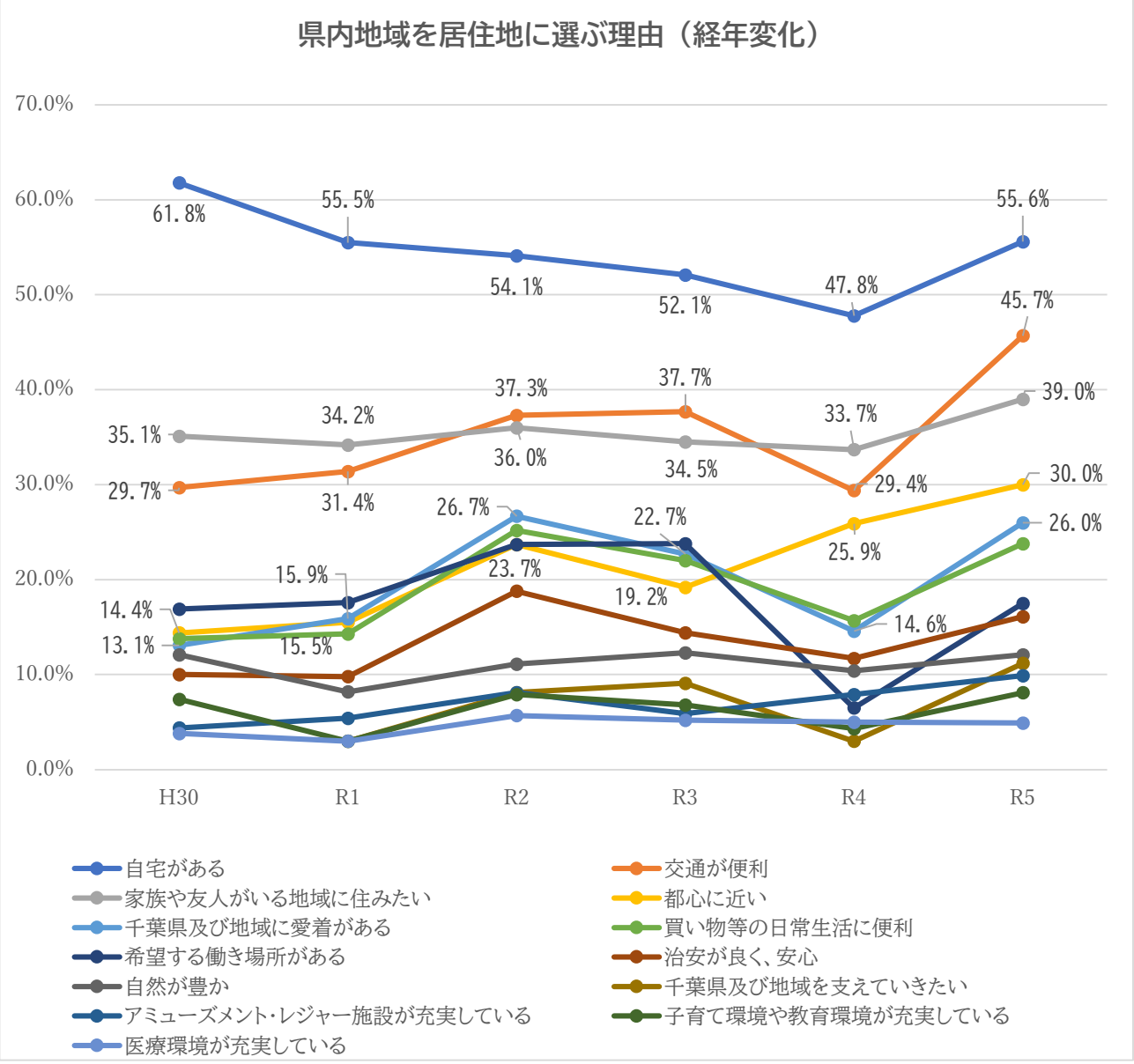
就業後の希望居住地を「千葉県内」とした人に県内のどの地域に住みたいかを尋ねたところ、「千葉市」や「船橋市」、「市川市」などの東京に近い地域が多く、また、「成田市」や「佐倉市」などの印旛地域が続く形になっている。



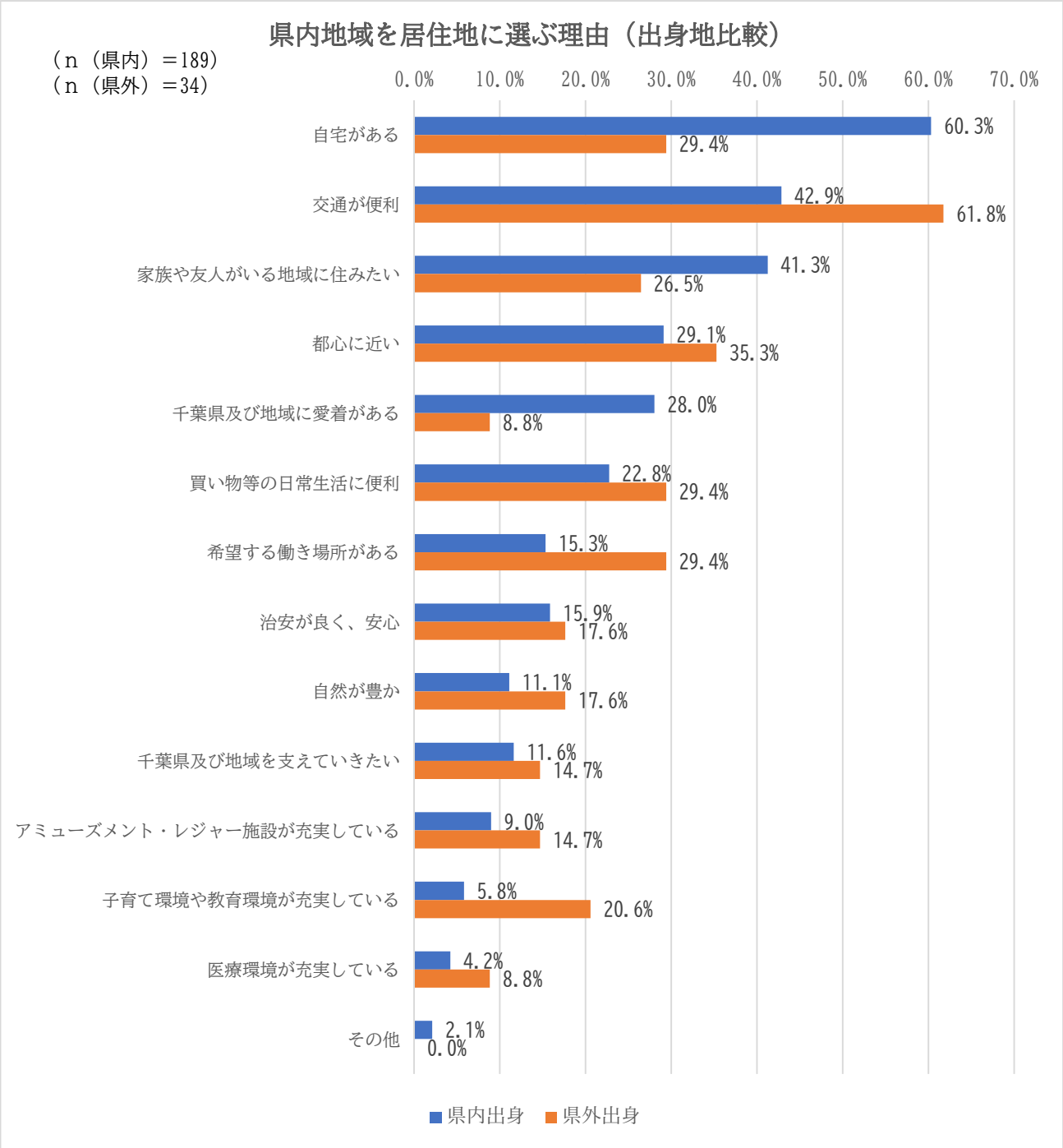
（3）県内の地域を居住地に選ぶ理由

県内地域を居住地に選ぶ理由として、平成 30 年以降減少していた「自宅がある」が昨年度より 7.8 ポイント増の 55.6%となった。また、昨年大きく減少した「交通が便利」が 16.3 ポイントと大幅に増加した。

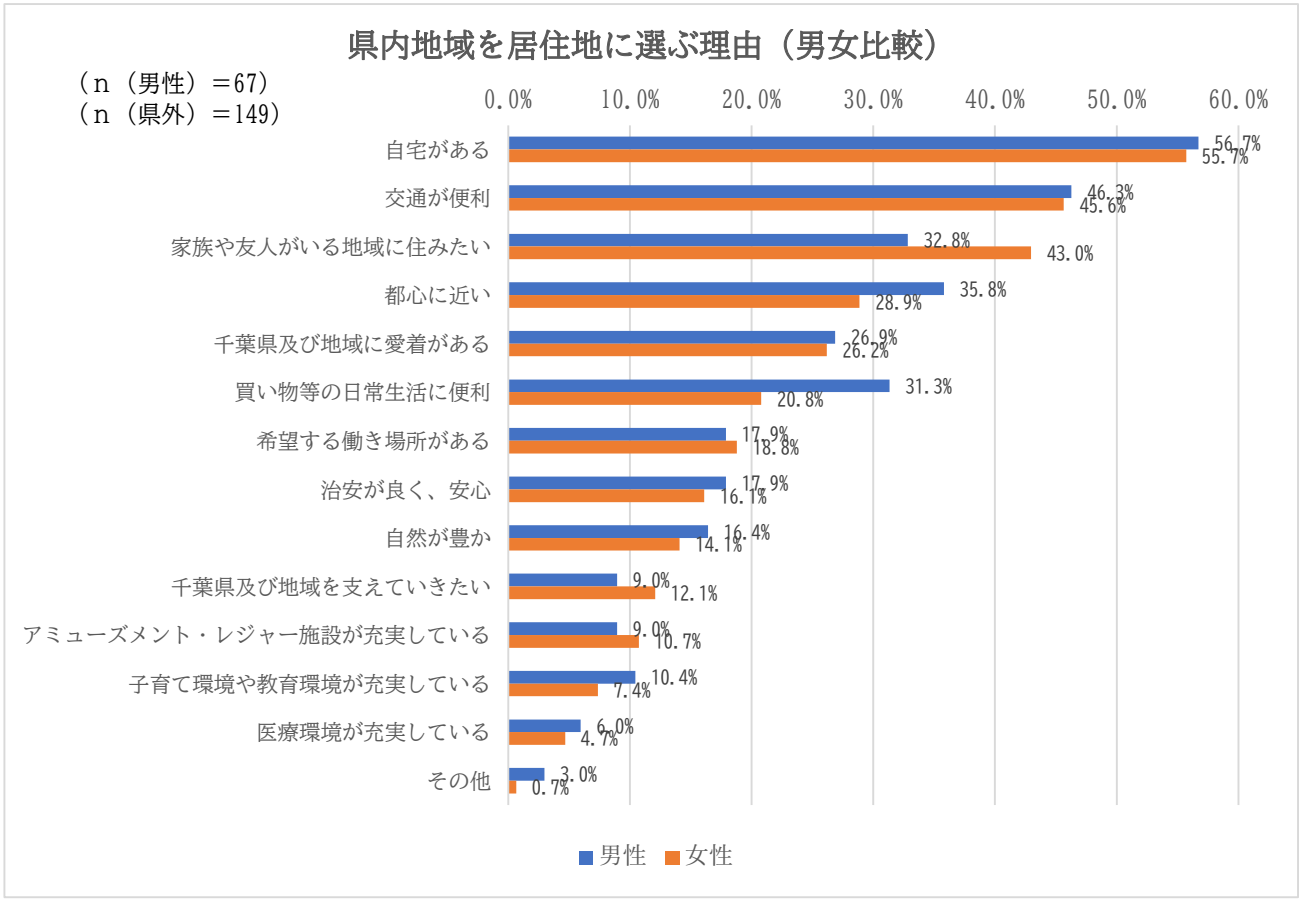


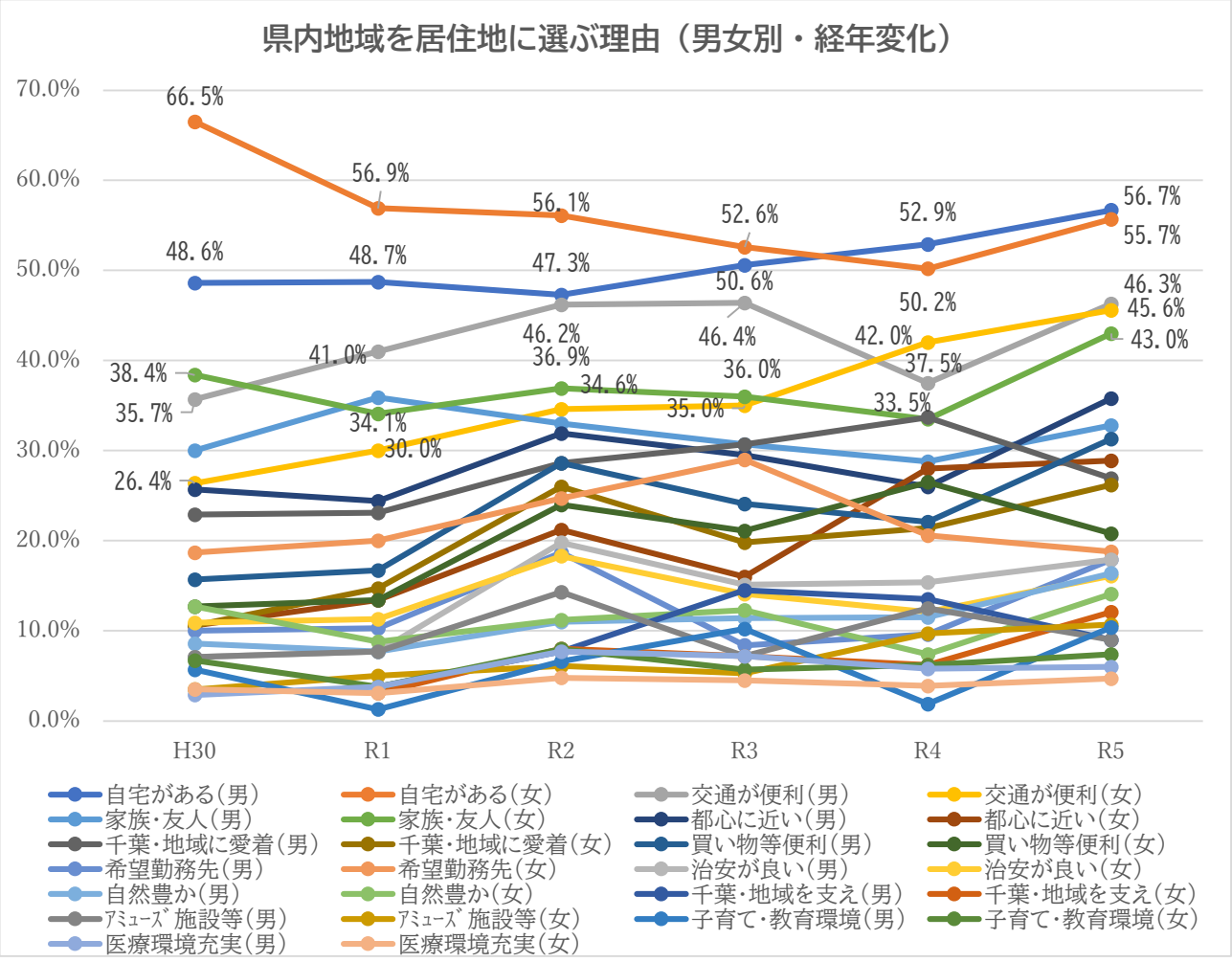


出身地別に見ると、県内出身者は「自宅がある」や「家族や友人がいる地域に住みたい」、「千葉県及び地域に愛着がある」などが多い一方、県外出身者は「交通が便利」や「都心に近い」などの利便性を挙げる割合が大きくなっている。



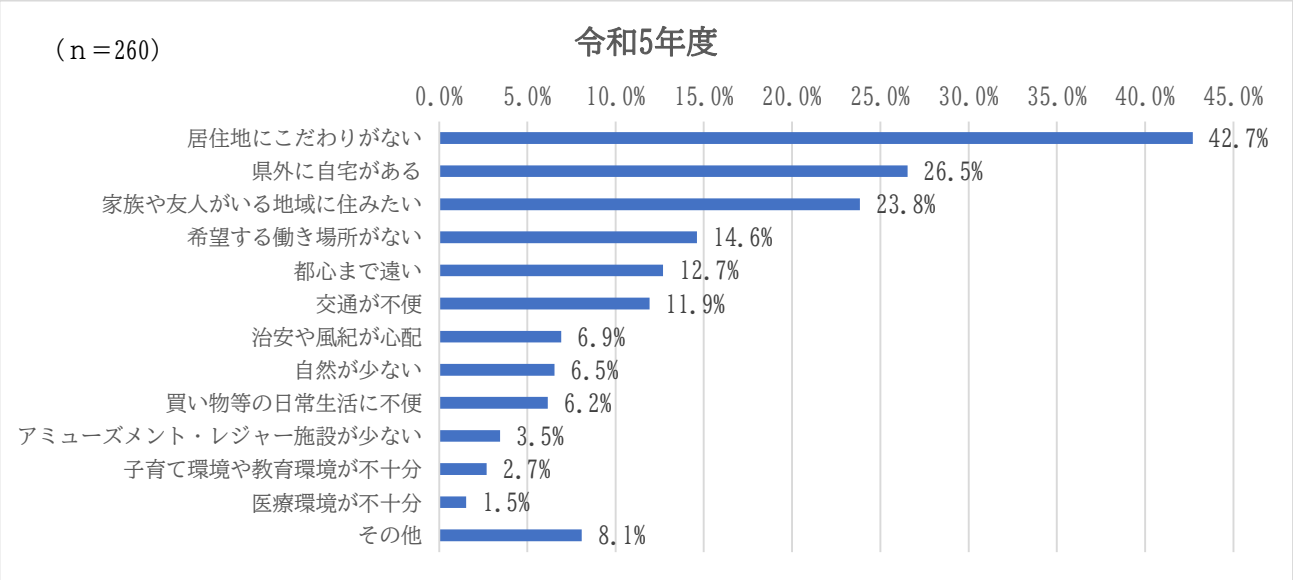
性別で見ると、女性は「家族や友人がいる地域に住みたい」の割合が大きい一方、男性は「買い物等の日常生活に便利」の割合が大きくなっている。

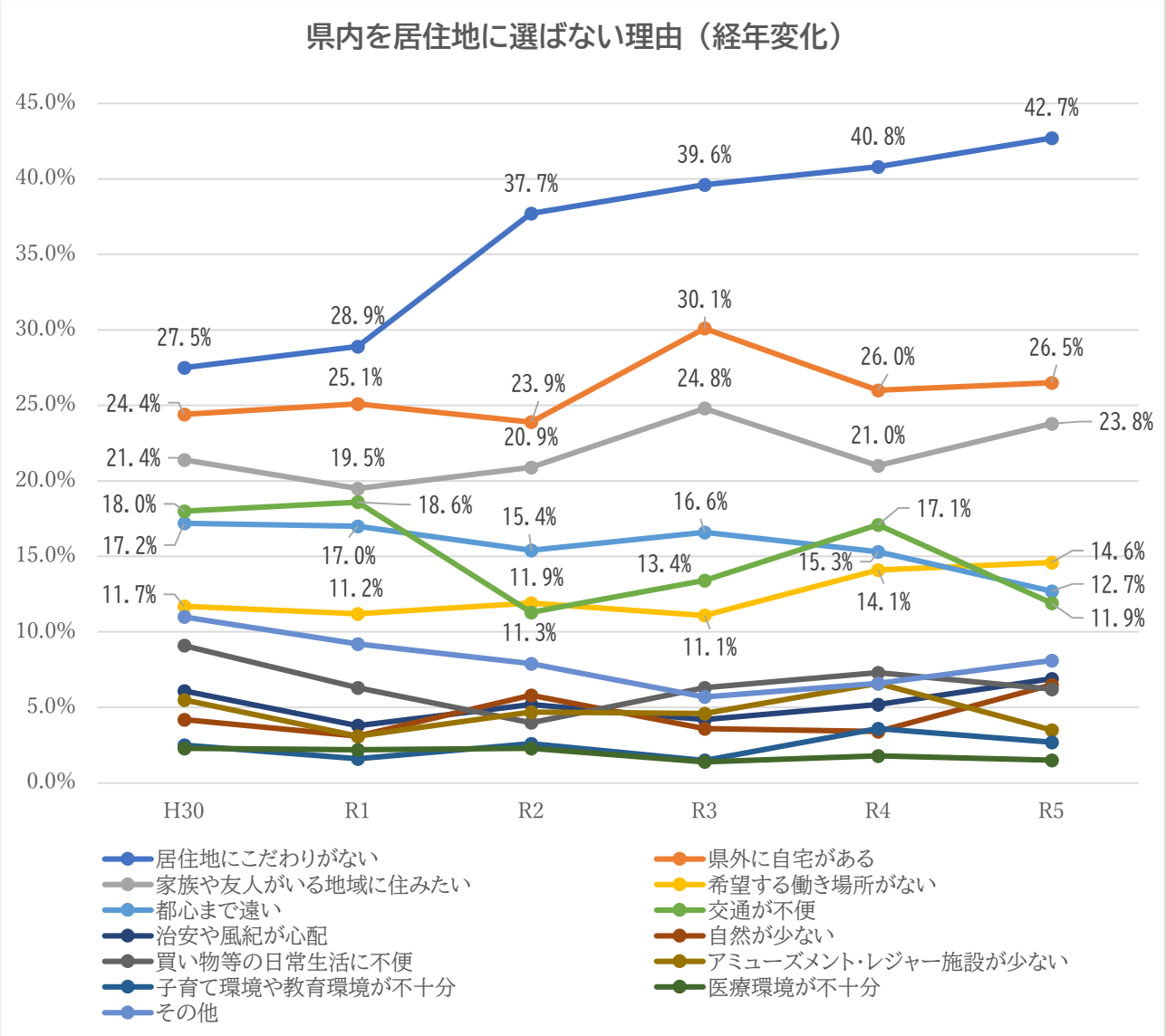




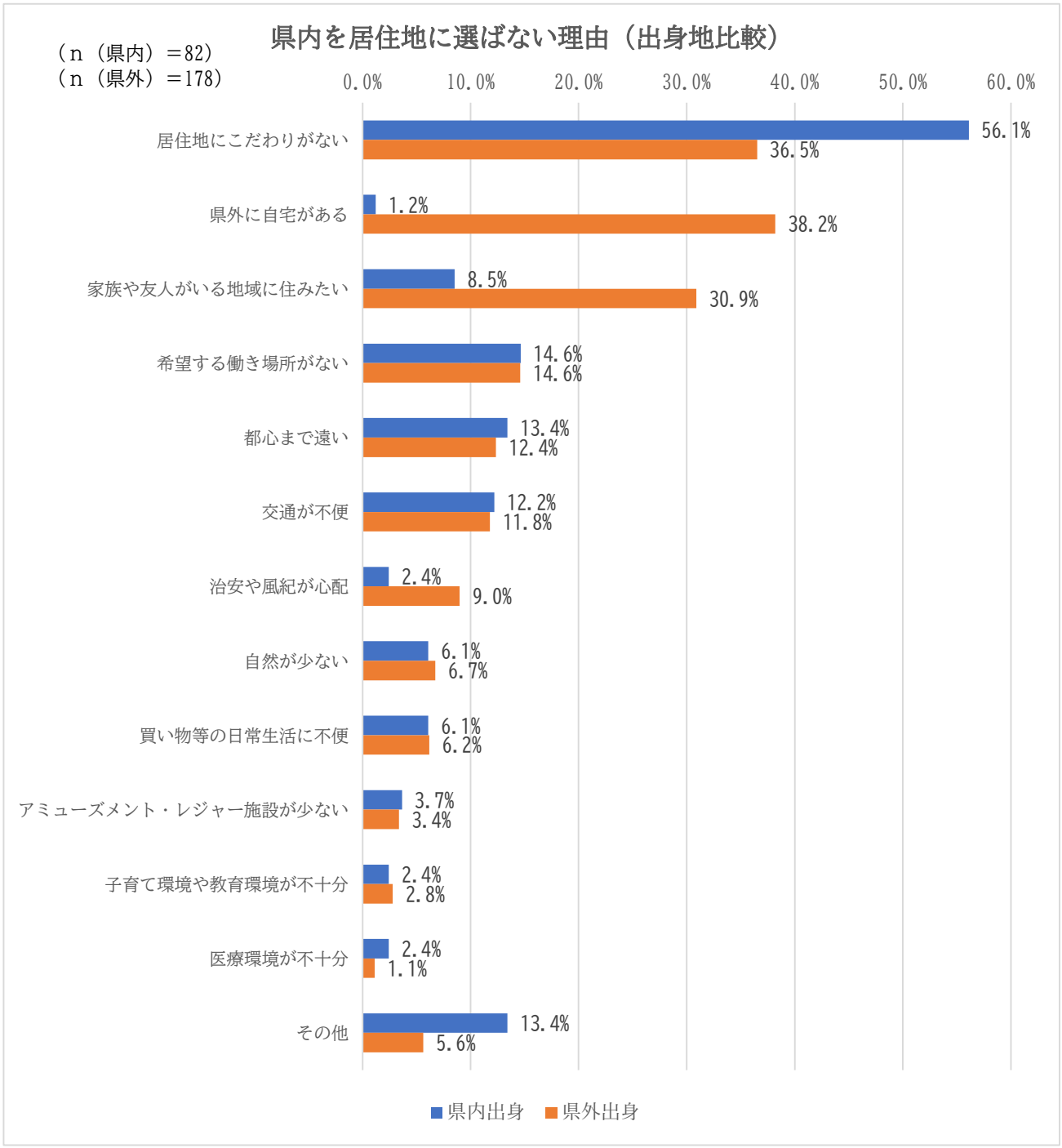
（4）県内を居住地に選ばない理由

県内を居住地に選ばない理由として、「居住地にこだわりがない」が昨年度より 1.9 ポイント増の 42.7%となっている。経年変化としては、「都心まで遠い」や「交通が不便」などが減少している一方、「希望する働き場所がない」が上昇し、4 位に上がっている。

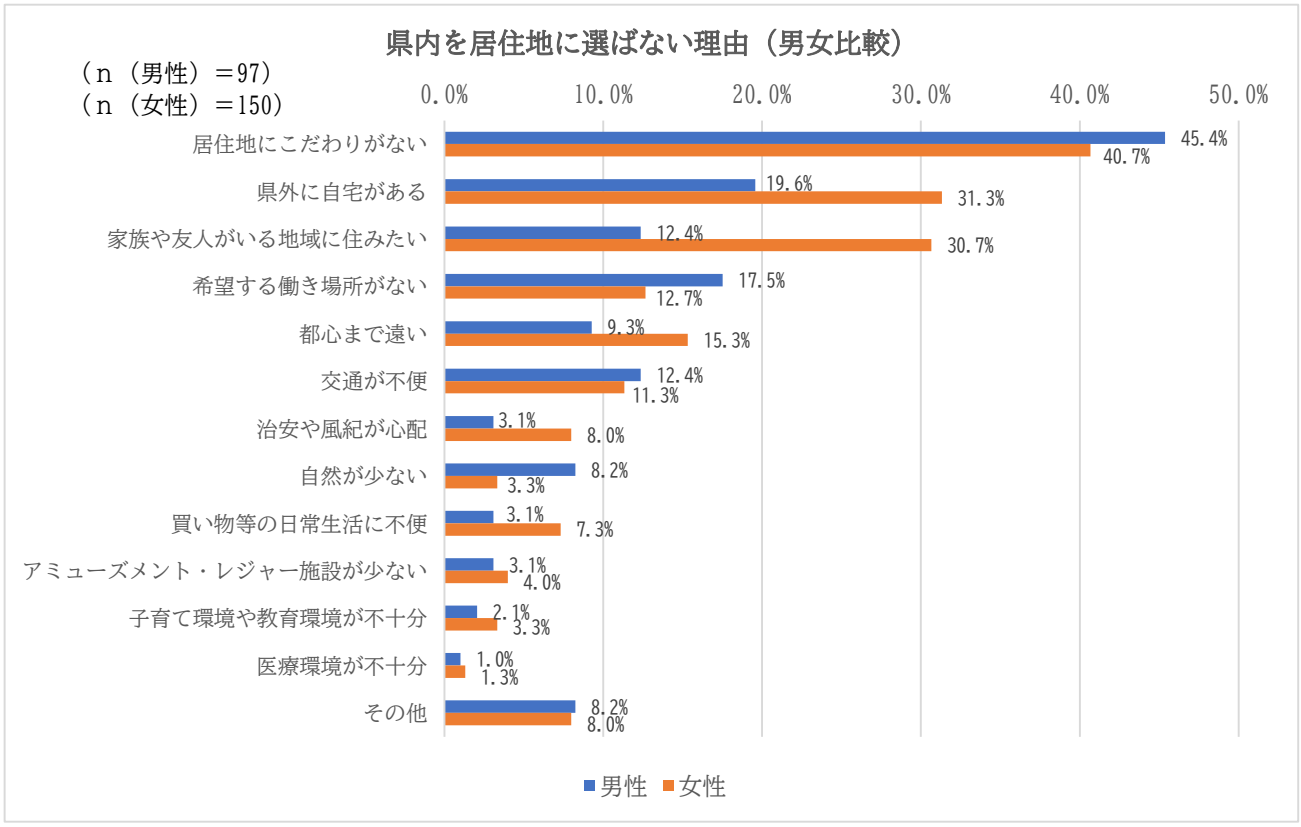


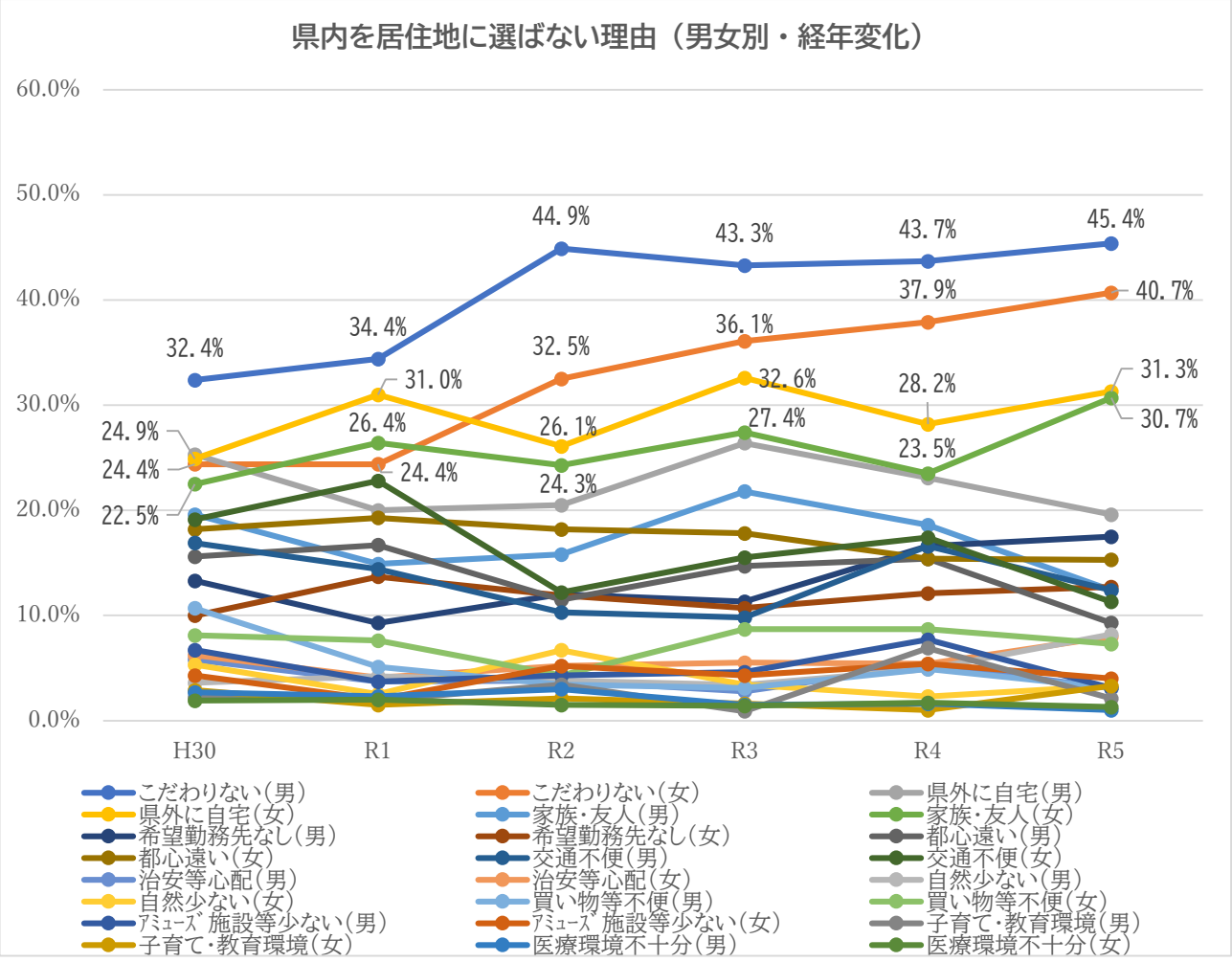


出身地別に見ると、当然ながら「県外に自宅がある」を回答した割合が県外出身者に多くなっており、また、「家族や友人がいる地域に住みたい」も多くなっている。



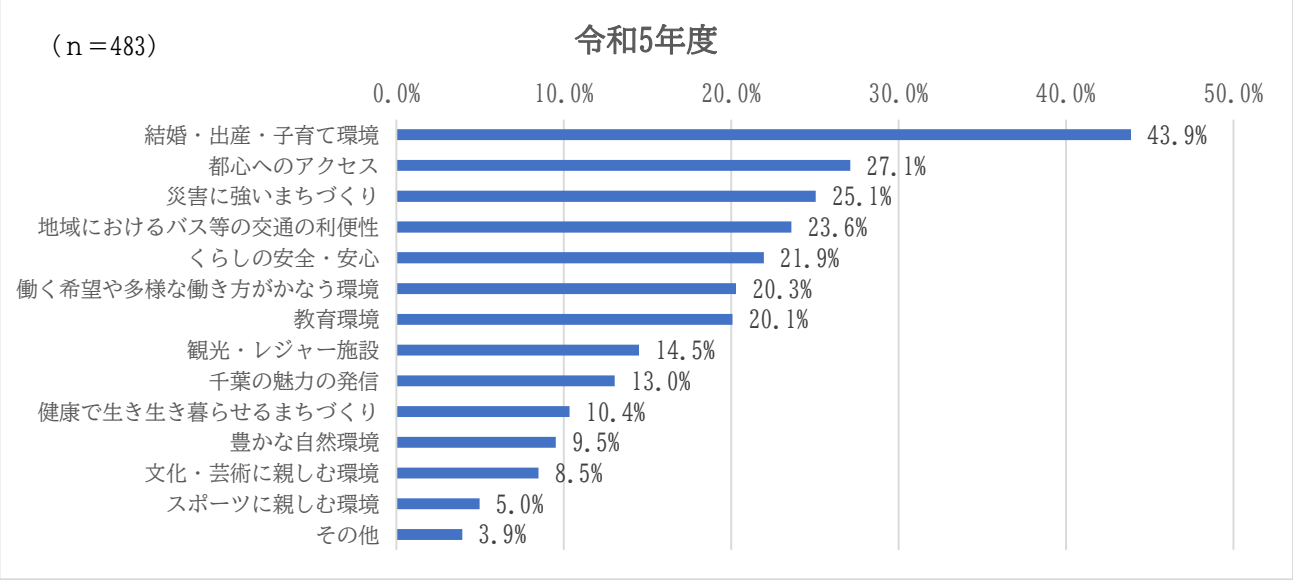
性別で見ると、女性は「県外に自宅がある」や「家族や友人がいる地域に住みたい」が多くなっている一方、男性は「希望する働き場所がない」などが多くなっている。経年変化を見ると、女性の「居住地にこだわりがない」の割合が年々多くなっており、男性の割合に迫ってきている。

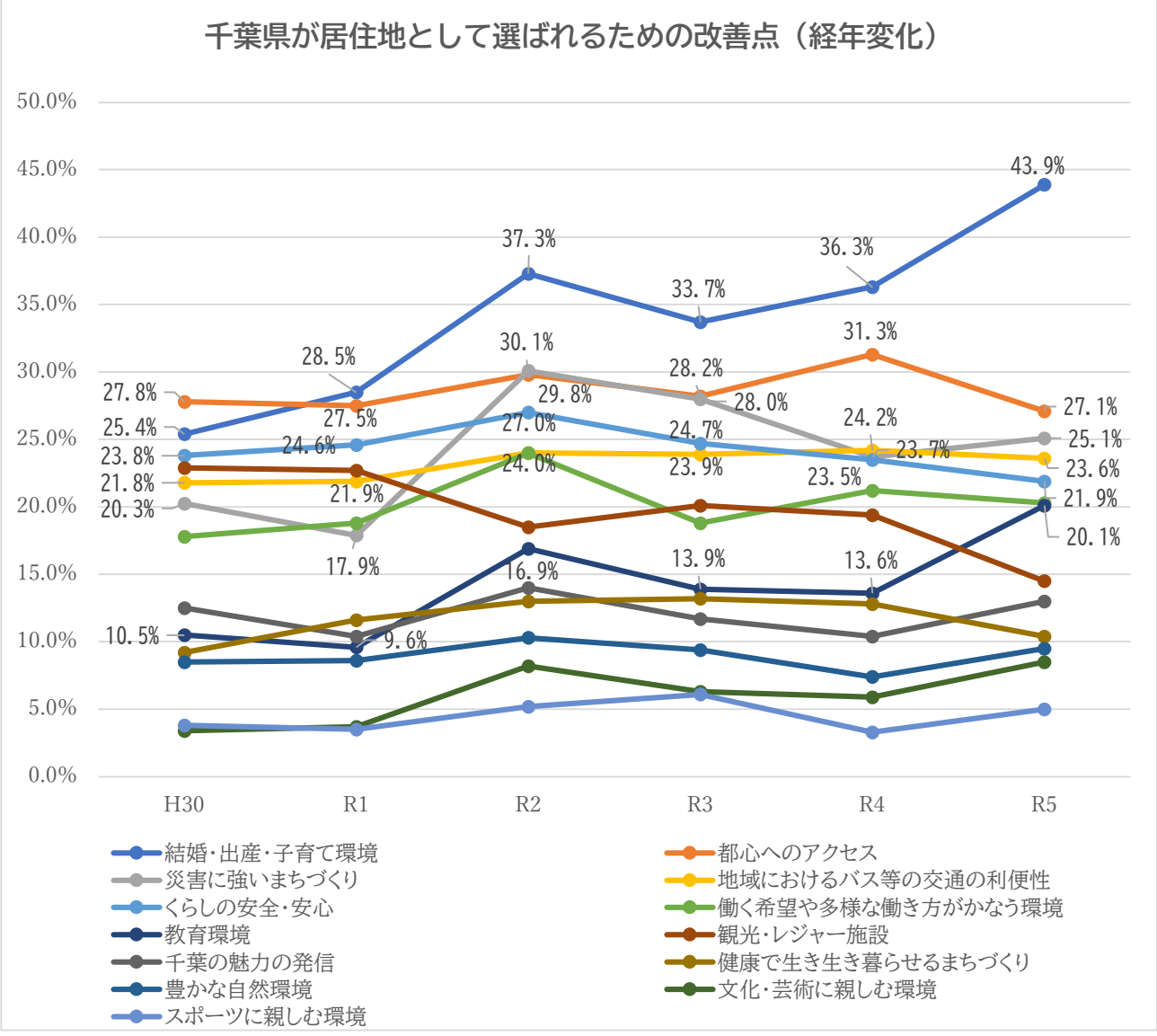




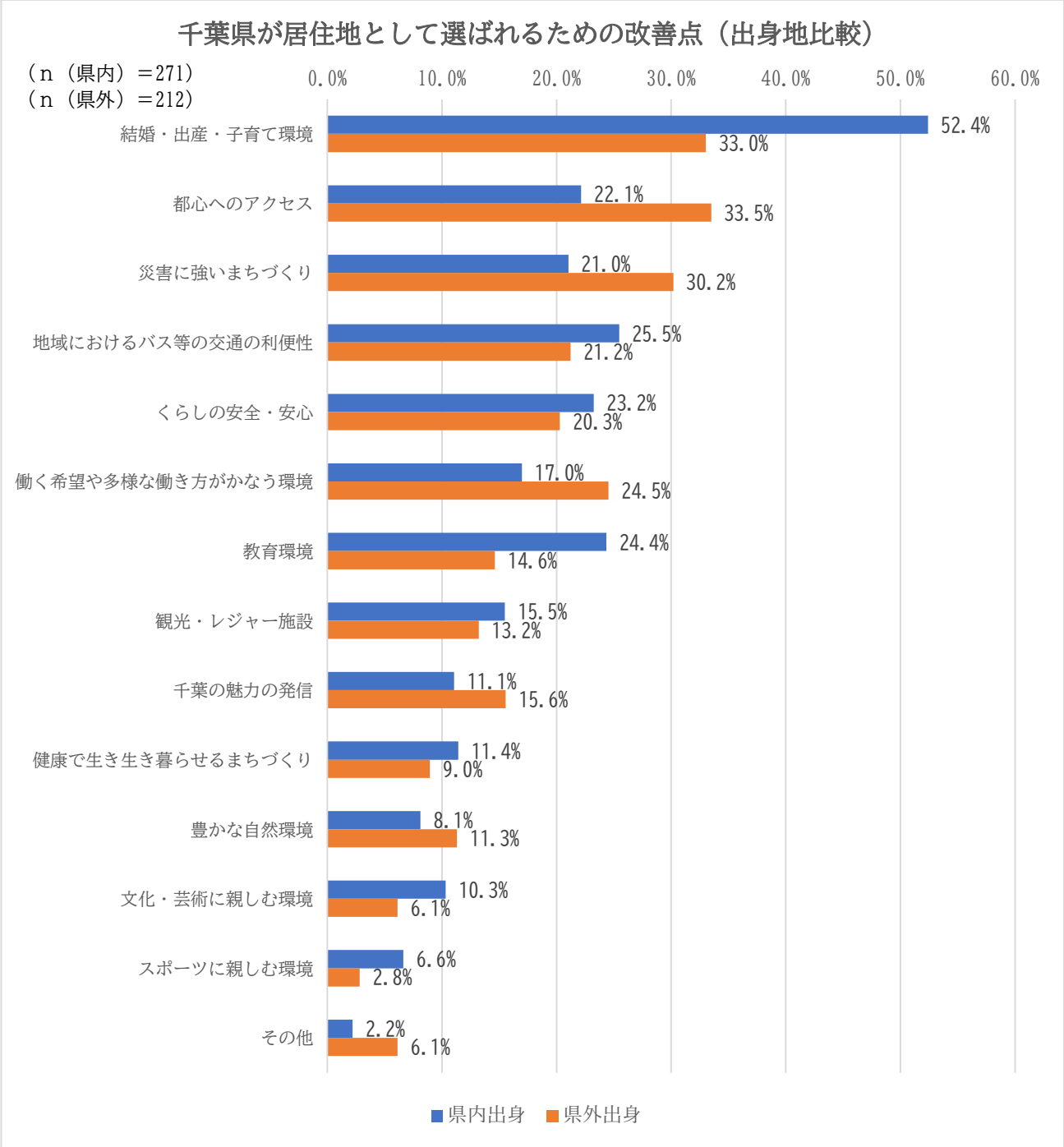
（５）千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なことは、「結婚・出産・子育て環境」が昨年度から 7.6 ポイント増加し、43.9%となっており、また、「教育環境」も 6.5 ポイントと大きく増加している。一方で、「都心へのアクセス」は 4.2 ポイント減少している。

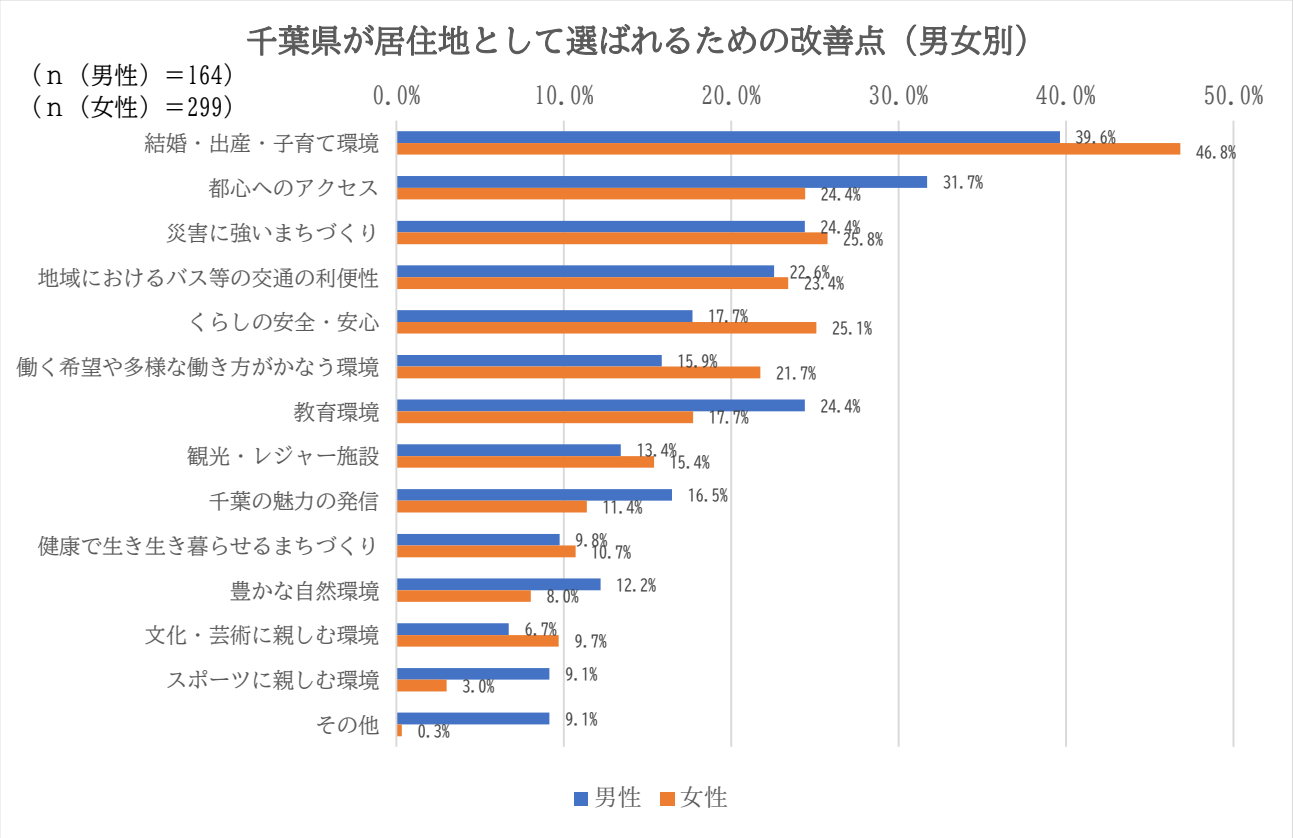


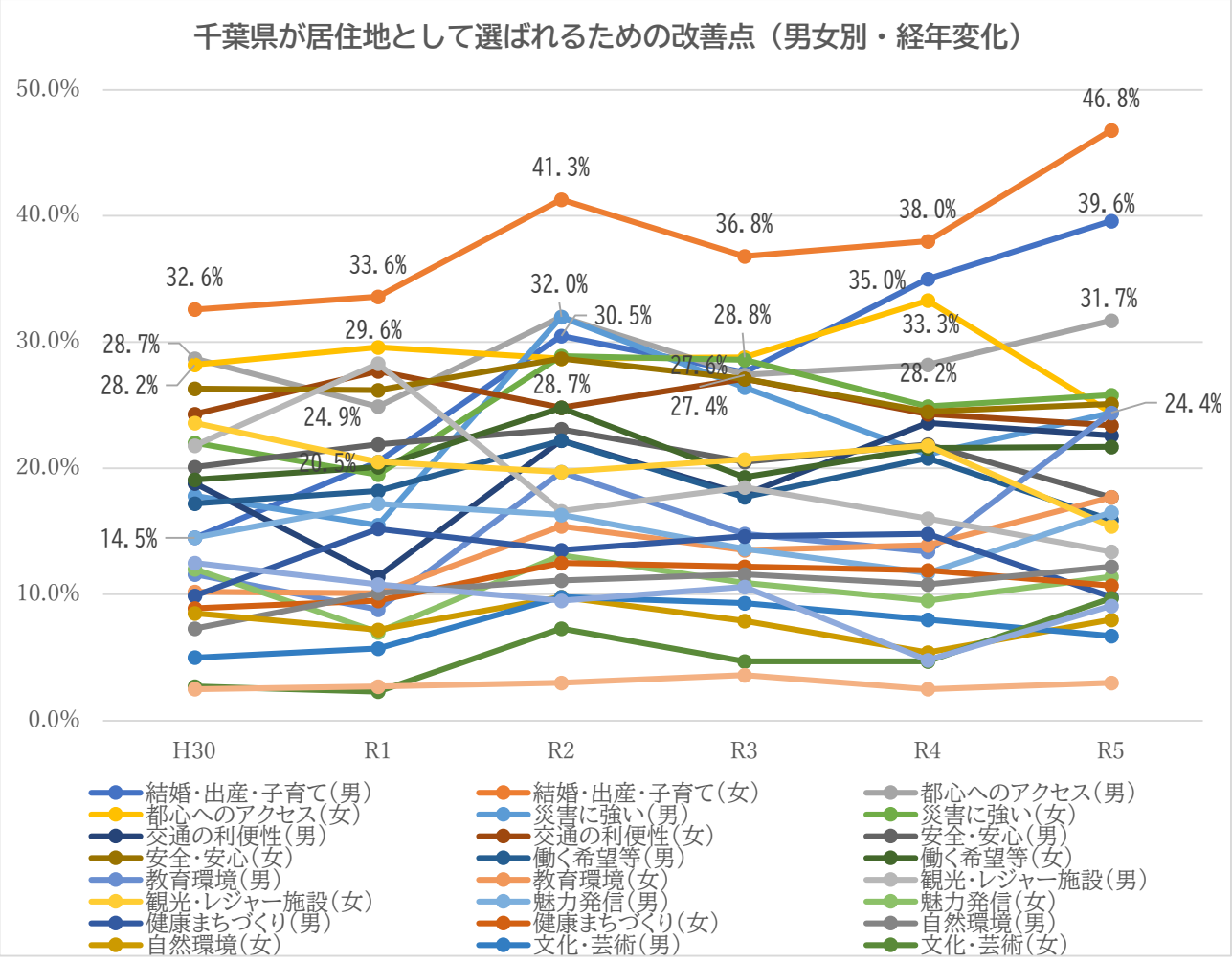


出身地別に見ると、「結婚・出産・子育て環境」では県内出身者の割合が大きくなっており、また、「都心へのアクセス」や「災害に強いまちづくり」は県外出身者の割合が大きくなっている。



性別で見ると、「結婚・出産・子育て環境」や「くらしの安全・安心」などで女性の割合が大きくなっている一方、「都心へのアクセス」や「教育環境」などで男性の割合が大きくなっている。また、「都心へのアクセス」を選択した女性が今年大きく減少している。

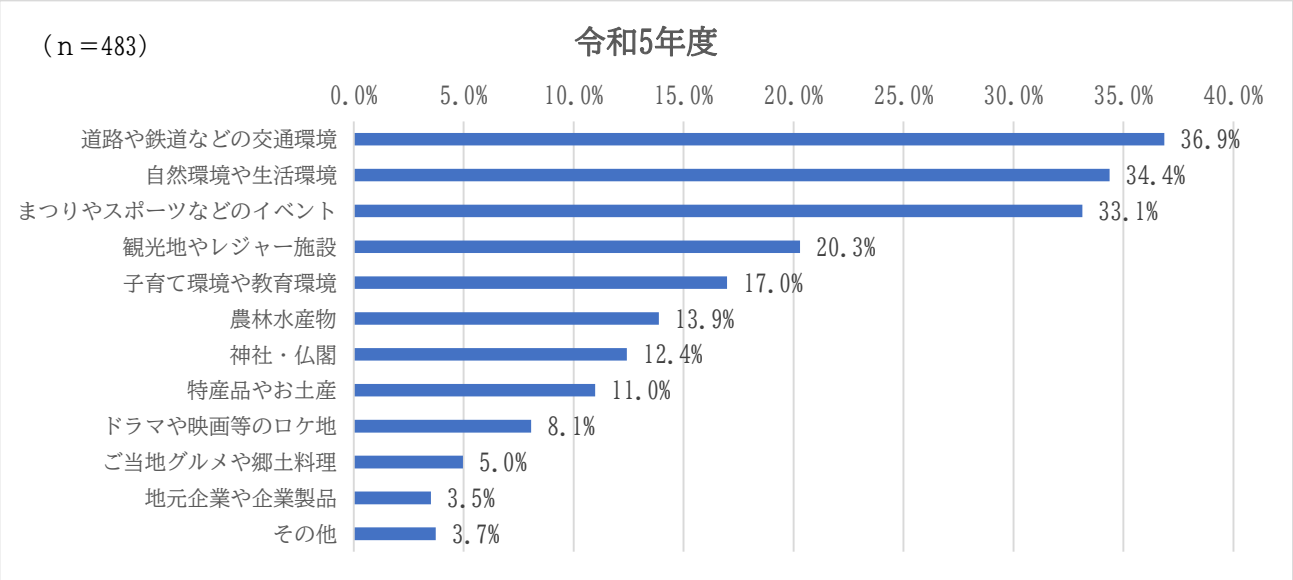


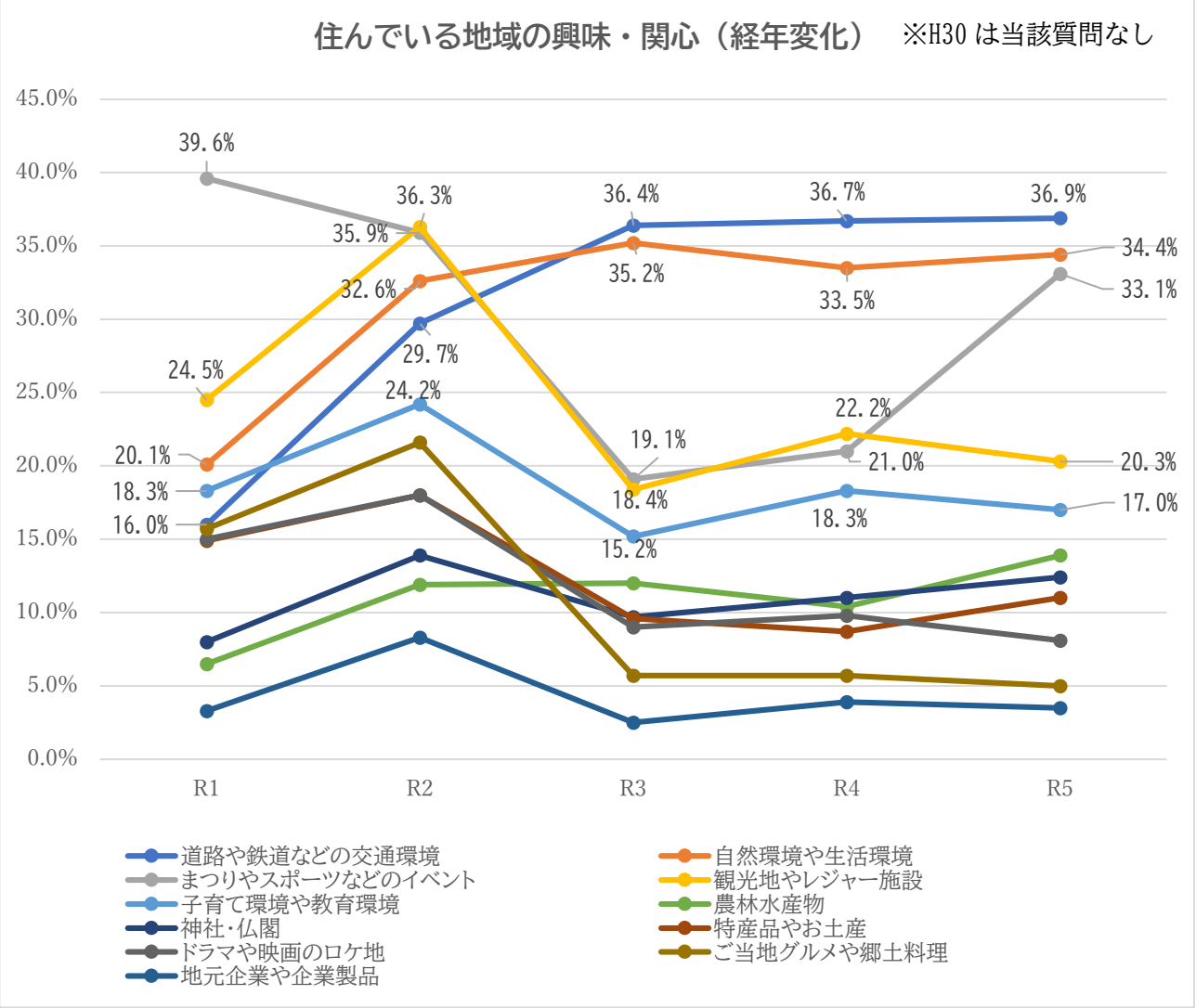


４．地域への興味・関心について

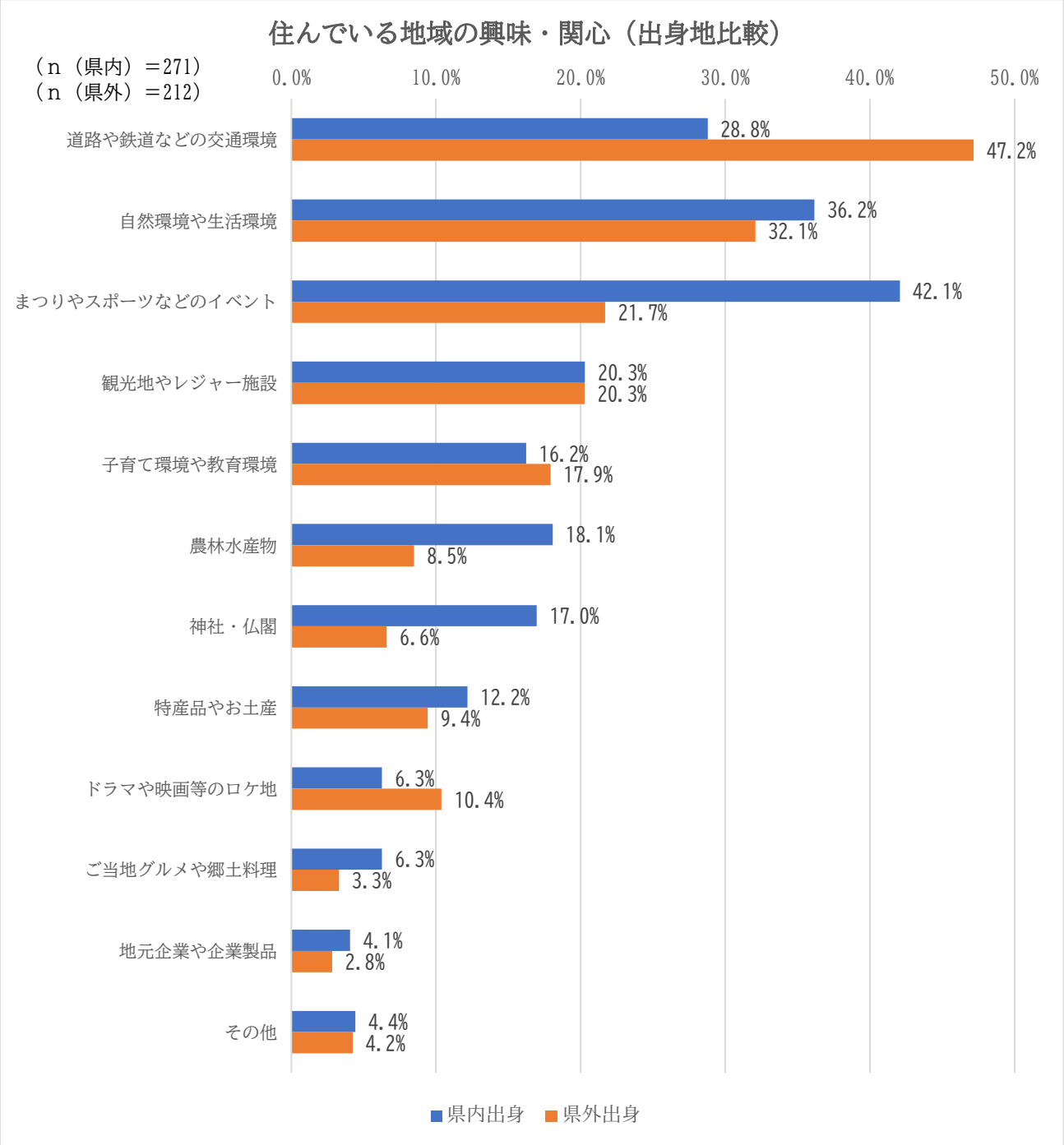
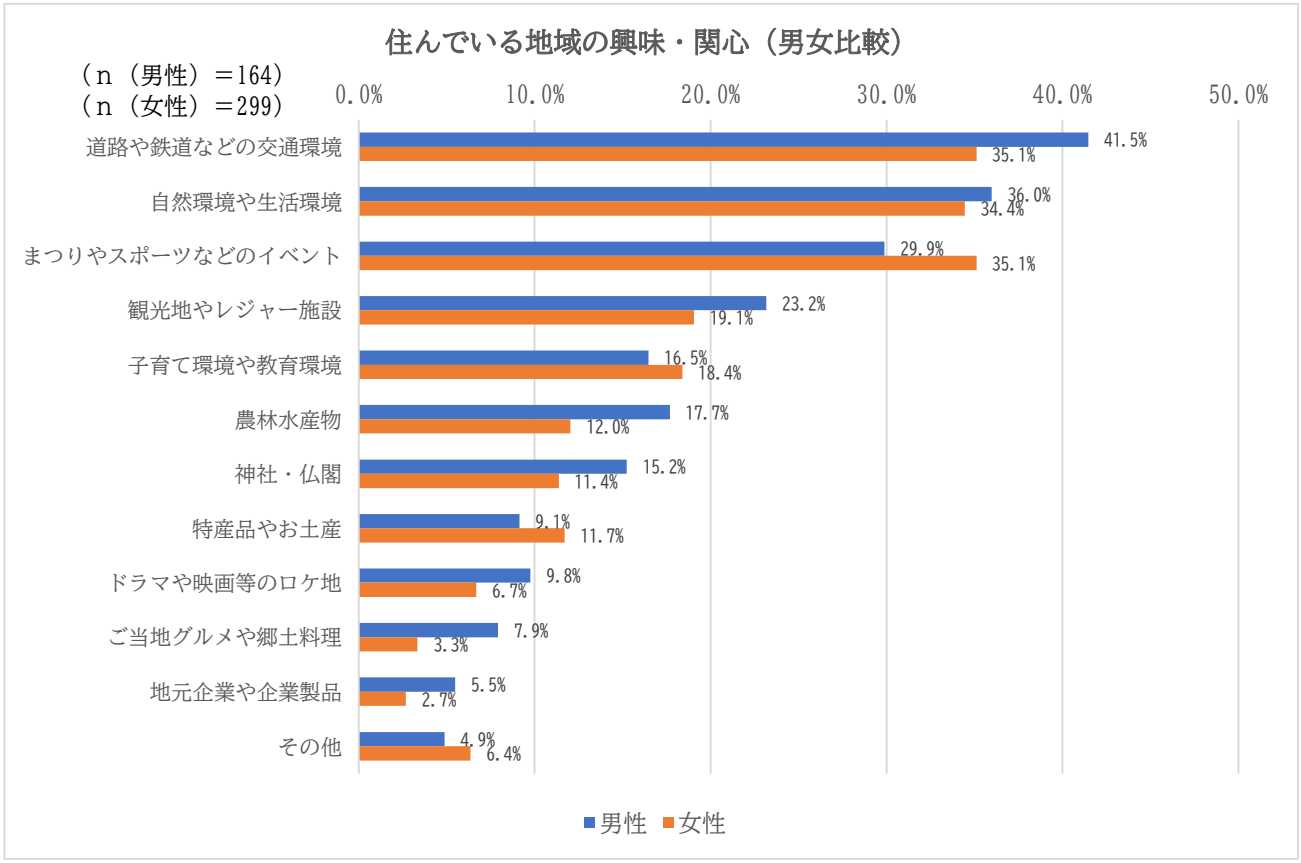
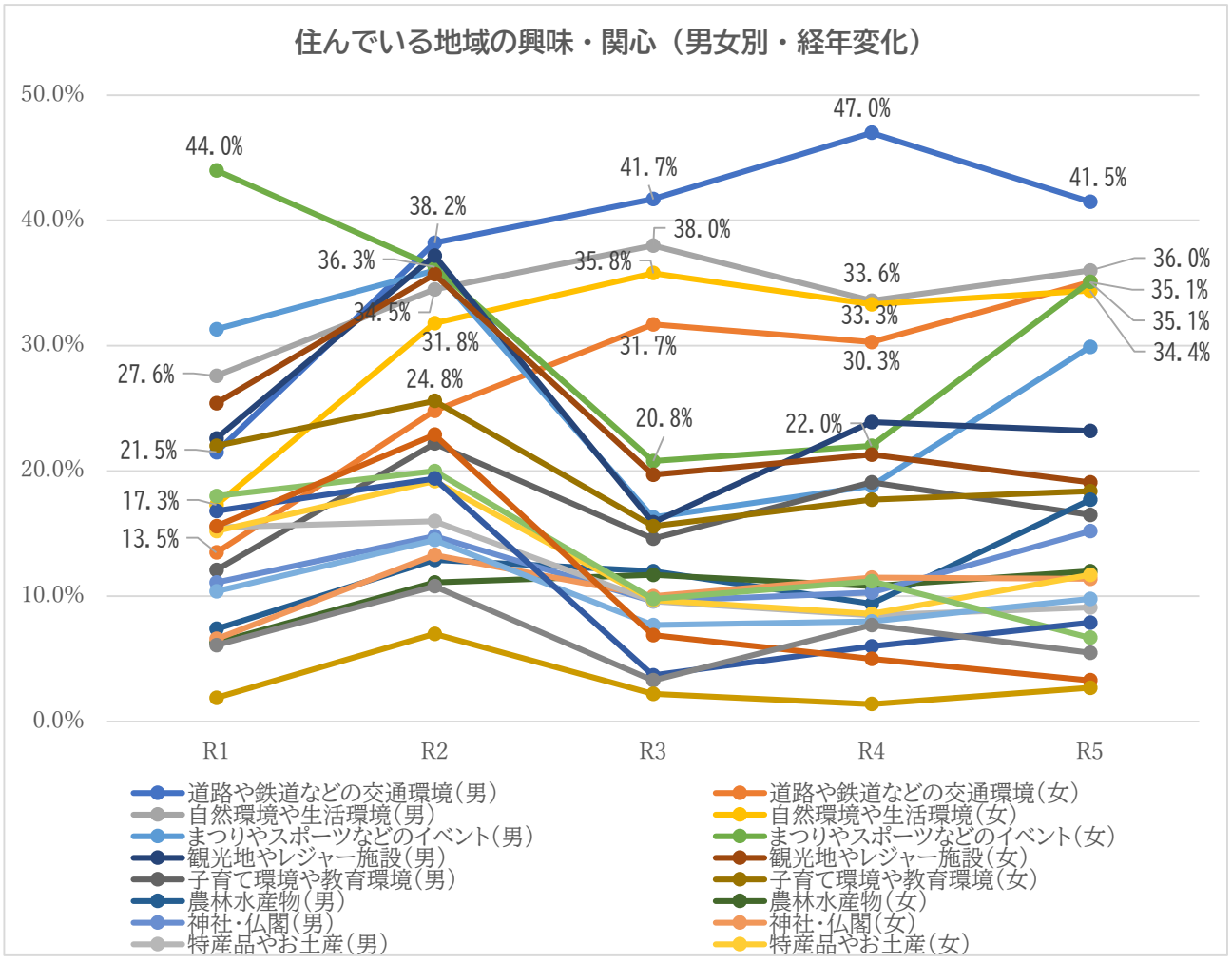
（１）住んでいる地域の興味・関心

住んでいる地域の興味・関心については、「道路や鉄道などの交通環境」が 36.9%と最も多くなっているが、伸びは大きくない。経年変化で見ると、「まつりやスポーツなどのイベント」が 12.1 ポイントと大きく増加し、回復している一方で、「観光地やレジャー施設」は令和 3 年に減少して以降、回復が見られない。





出身地別に見ると、「まつりやスポーツなどのイベント」などで県内出身者の割合が大きくなっている一方、「道路や鉄道などの交通環境」では県外出身者の割合が大きくなっている。



性別で見ると、「道路や鉄道などの交通環境」などでは男性の割合が大きくなっている一方、「まつりやスポーツなどのイベント」などでは女性の割合が大きくなっている。